

# 平成22年度 予算概算要求の重点事項

平成21年8月

国土交通省近畿地方整備局

# 平成22年度 近畿地方整備局予算概算要求の概要(重点要求事項)

平成22年度予算については、8月4日策定された「近畿圏広域地方計画」、「社会資本の整備重点方針」でまとめられている近畿ブロックの将来の姿の実現に向けた事業を推進する。  
以下に、P1～P40の平成22年度予算概算要求における重点要求事項を示す。

## I. 歴史・文化を活かした地域づくり

### ■ 歴史・文化・風土の保全・活用

- ・国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 飛鳥区域  
キトラ古墳周辺地区の整備促進(直轄) ……P4

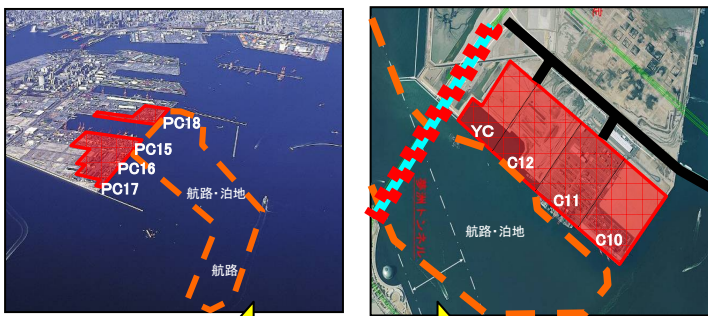


歴史体験学習エリア(歴史体験ゾーン)イメージ  
キトラ古墳周辺地区の整備イメージ

## II. アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

### ■ 産業・経済を支える陸・海・空の交通網の強化

- ・阪神港スーパー中枢港湾プロジェクトの推進(直轄) ……P30



神戸港 ← 阪神港の連携強化! → 大阪港  
阪神港スーパー中枢港湾



全線で工事を推進する近畿自動車道紀勢線(田辺～すさみ)

### ■ 圏域内外の交流・連携の強化

- ・近畿自動車道紀勢線  
基幹ネットワークの整備(直轄) ……P20

## III. 都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

### ■ 持続可能な地域づくりと生活圏の形成

- ・円山川、淀川における  
自然再生事業の推進(直轄) ……P17



ワンドの保全・再生を進める淀川

## 人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

暮らしやすく、安全・安心な生活環境の創出

- ・阪急淡路駅周辺など、連続立体交差事業、土地区画整理事業の推進(補助)……P 6

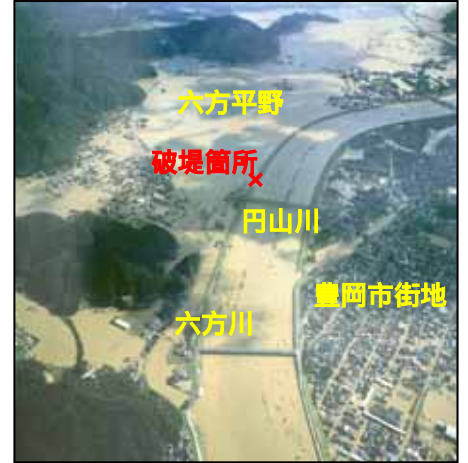
## 安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

自然災害への的確な対応

- ・地球温暖化による水災害の激化への対策  
(直轄・補助) …… P 12
- ・円山川、由良川下流部など、  
平成16年度災害の再度災害防止(直轄・補助) …… P 13
- ・和歌山下津港海岸など、津波高潮対策の推進  
(直轄・補助) …… P 33

災害に対する広域的な安全性の向上

- ・堺泉北港堺2区基幹的  
広域防災拠点整備事業の推進(直轄) …… P 32

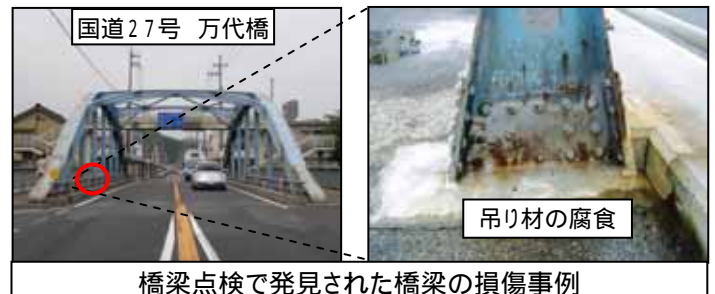


円山川浸水状況(平成16年10月)

## ストック型社会への対応

計画的・効率的な社会資本の維持管理や更新とICT有効活用

- ・河川管理施設の長寿命化対策(直轄) … P 16
- ・国道27号万代橋橋梁補修など、  
高齢化する橋梁の予防的補修  
による延命化(直轄) …… P 27



橋梁点検で見えられた橋梁の損傷事例

## 平成22年度 近畿地方整備局 完成・供用予定箇所(直轄)

### 【完成・供用予定箇所】

(治水事業)

- 円山川激甚災害対策特別緊急事業

(道路事業)

- 国道26号 第二阪和国道 【一部区間(L=2.8km) 暫定2車線供用】
- 国道161号 西大津バイパス 【一部区間(L=5.6km) 4車線化供用】
- 国道161号 志賀バイパス 【一部区間(L=3.4km) 暫定2車線供用】
- 国道168号 十津川道路 【一部区間(L=2.3km) 供用】
- 国道421号 石樽峠道路 【全線(L=4.5km) 供用】
- 国道29号 姫路北バイパス 【一部区間(L=1.5km) 暫定2車線供用】

など

# 平成22年度予算概算要求の重点事項

## 目 次

1. 平成22年度予算概算要求の基本方針	1
2. 近畿ブロックの目指すべき将来の姿を 実現するための重点戦略	2
3. 予算概算要求のポイント	
. 都市・住宅関係	4
. 治水関係	12
. 道路関係	20
. 港湾空港関係	30
. 営繕関係	38



# 1. 平成22年度予算概算要求の基本方針

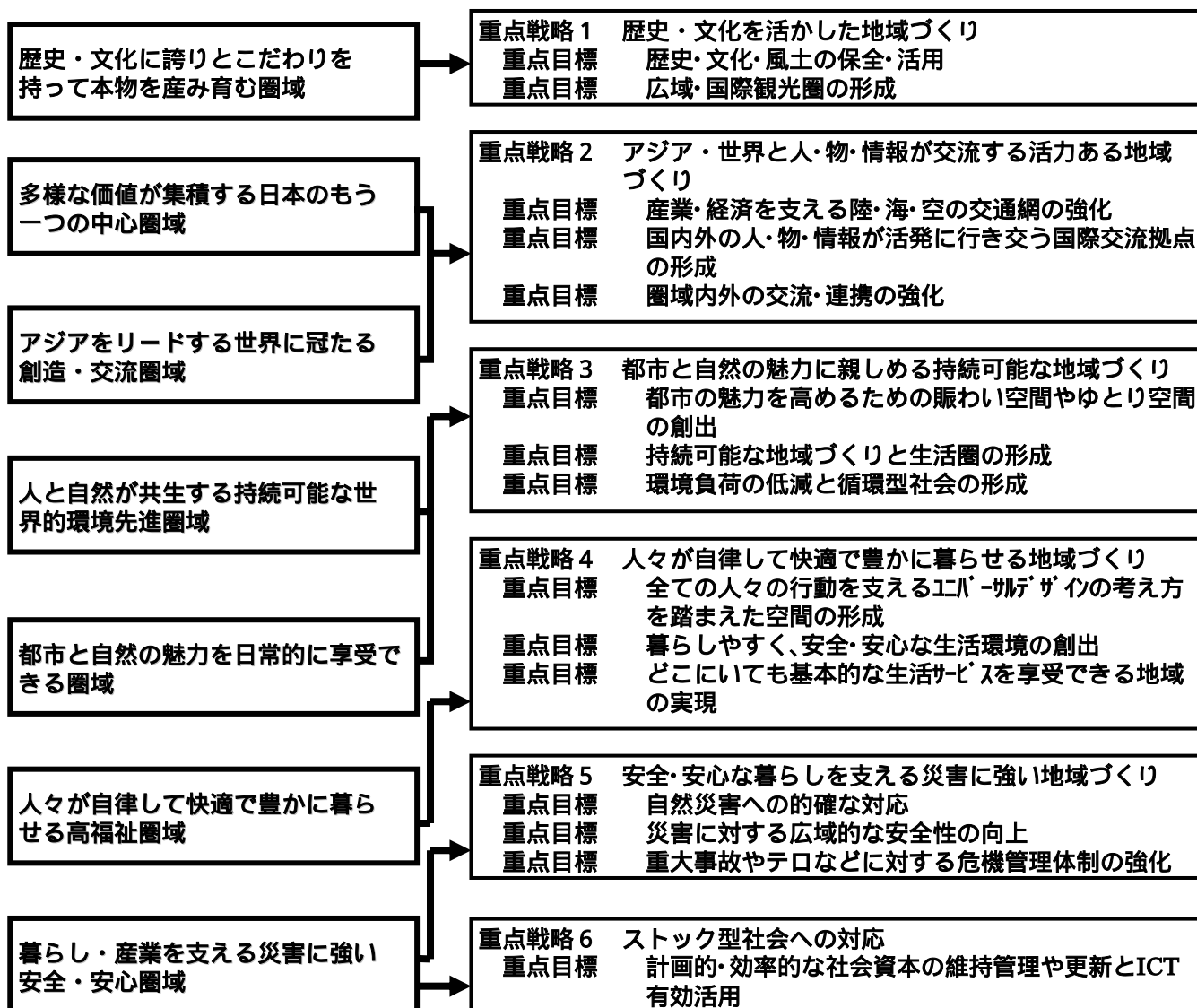
近畿ブロックにおける以下の現状や課題から、

- ・我が国を代表する歴史・文化資産が集中。
- ・世界最高水準の大学・研究機関が集積。また、歴史的にも経済的にも東アジアとのつながりが深い。
- ・都市・農山漁村・自然が適度に分散しており、人と自然の持続的な共生を目指す取組が進展。
- ・過去の経験と教訓を活かした防災、復旧・復興に関する先進的な対応を有しているとともに、東南海・南海地震など様々な激甚災害の危険性を抱える。
- ・人口減少・高齢化の進展。
- ・素材産業等の立地が急速に進むなど臨海部の優位性が見直されつつあるが、「100年に一度」とも言われる危機に直面し、世界的な景気後退が生じている。
- ・急速な経済成長が進む中国など東アジア地域の台頭。
- ・予防保全の考えに立った計画的・効率的な社会資本の維持・管理などを着実に進めることが必要。

平成22年度予算については、8月4日に策定された「近畿圏広域地方計画」及び「近畿ブロックの社会資本の重点整備方針」でまとめられている近畿ブロックの将来の姿の実現に向け、6つの重点戦略とそれに基づく15の重点目標を設定し、その達成に向けて、効果的かつ効率的な事業を推進する。

## 【近畿ブロックの目指すべき将来の姿】

## 【重点戦略と重点目標】



## 2. 近畿ブロックの目指すべき将来の姿を実現するための重点戦略

### ・歴史・文化を活かした地域づくり

#### 【重点目標と主要事業】

##### 歴史・文化・風土の保全・活用

- ・国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 飛鳥区域 キトラ古墳周辺地区の整備促進(直轄)

##### 広域・国際観光圏の形成

- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄) など

### ・アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

#### 【重点目標と主要事業】

##### 産業・経済を支える陸・海・空の交通網の強化

- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲)
- ・産業・経済を支える幹線道路網の整備(第二阪和国道)(直轄)
- ・阪神港スーパー中枢港湾プロジェクトの推進(直轄)
- ・舞鶴港前島地区など、既存ストックの有効活用による地域経済の活性化への支援(直轄)

##### 国内外の人・物・情報が活発に行き交う国際交流拠点の形成

- ・JR東海道線支線(大阪駅北付近)連続立体交差事業(補助)

##### 圏域内外の交流・連携の強化

- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲) など

### ・都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

#### 【重点目標と主要事業】

##### 都市の魅力を高めるための賑わい空間やゆとり空間の創出

- ・まちづくり交付金(JR奈良駅周辺地区)(補助)
- ・都市公園の整備(和歌山県営紀三井寺公園)(補助)
- ・地域の魅力・活力を向上させる地域連携事業(かわまちづくり支援制度)(補助)

##### 持続可能な地域づくりと生活圏の形成

- ・円山川、淀川における生態系の保全を促進する自然再生事業(直轄)
- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲)
- ・尼崎運河再生による魅力あるみなとづくりの推進(みなと振興交付金)(補助)
- ・宮津港など、海域環境創造・自然再生等事業、侵食対策事業(海岸)の推進(補助)

##### 環境負荷の低減と循環型社会の形成

- ・下水道処理場の整備(竜華水みらいセンター、なわて水みらいセンター)(補助)
- ・大阪湾フェニックス事業の推進(補助)
- ・地球温暖化対策としての既存庁舎等のグリーン改修の推進(直轄) など

## ・人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

### 【重点目標と主要事業】

#### 全ての人々の行動を支えるユニバーサルデザインの考え方を踏まえた空間の形成

- ・国道2号新在家横断歩道橋整備事業など、バリアフリー化の推進(直轄)
- ・高度なバリアフリー化を目指した官庁施設整備の推進(直轄)

#### 暮らしやすく、安全・安心な生活環境の創出

- ・阪急淡路駅周辺(連続立体交差事業、土地区画整理事業)(補助)
- ・国道29号田井地区歩道整備事業など、通学路等における安全・安心な歩道空間の創出(直轄)

#### どこにいても基本的な生活サービスを楽しむ地域の実現

- ・国道421号石樽峠道など、地域の生活を支える幹線道路の整備(直轄) など

## ・安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

### 【重点目標と主要事業】

#### 自然災害への的確な対応

- ・住宅・建築物の耐震化(補助)
- ・地球温暖化による水災害の激化への対策(直轄・補助)
- ・円山川、由良川下流部など、平成16年度災害の再度災害防止(直轄・補助)
- ・堤防の信頼性向上・まちづくりと一体となった高規格堤防の整備(直轄)
- ・洪水被害から流域住民の暮らしを守るダム建設事業等(直轄・補助)
- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲)
- ・国道9号京都西共同溝、災害に強いライフラインの構築(直轄)
- ・大阪国際空港の整備(直轄)
- ・和歌山下津港海岸など、地震防災対策推進地域等における津波・高潮対策の推進
- ・大阪湾ゼロメートル地帯等における浸水被害対策の推進(補助) (直轄・補助)

#### 災害に対する広域的な安全性の向上

- ・防災公園の整備(大阪府営寝屋川公園、兵庫県営淡路佐野運動公園等)(補助)
- ・密集市街地の整備改善(補助)
- ・都市計画道路 山手幹線の整備事業(補助)
- ・下水道ネットワーク幹線の整備(補助)
- ・近畿自動車道紀勢線など、ネットワークの整備(直轄)(再掲)
- ・堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点整備事業の推進(直轄)
- ・防災拠点となる既存庁舎等の耐震改修の推進(直轄)

#### 重大事故やテロなどに対する危機管理体制の強化

- ・海洋環境整備事業の推進(瀬戸内海)(直轄) など

## ・ストック型社会への対応

### 【重点目標と主要事業】

#### 計画的・効率的な社会資本の維持管理や更新とICT有効活用

- ・地域住宅交付金(PFIによる市営長曽根団地・深井中町団地建替等事業)(補助)
- ・河川管理施設の長寿命化対策(直轄)
- ・国道27号万代橋橋梁補修など、高齢化する橋梁の予防的補修による延命化(直轄)
- ・港湾施設の戦略的維持管理の推進(直轄・補助) など







## 連続立体交差事業(JR東海道線支線(大阪駅北付近))

アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

西日本最大のターミナル・大阪駅に隣接する大阪駅北地区(梅田貨物ヤード跡地)において、関西の交流・情報発信等の都市型中核拠点の形成に向け、第1期先行開発区域(7ha)を行っており、第2期開発区域(17ha)は「環境」をテーマに、まちづくりを行う方針が決まっています。

この第2期開発区域で、JR東海道線支線約2.3kmの鉄道を地下化することにより、踏切を除却、都市内交通の円滑化、分断された市街地を一体化による都市の活性化を目的に、連続立体交差事業を行います。

すでに、平成21年度に着工準備採択されて、都市計画決定および事業認可取得に向けた調査・設計を実施していますが、平成22年度から事業着手に向けた調査・設計等を行っていきます。



### 【H22予定】

事業着手に向けた調査・設計等を行っていきます。





## 駅周辺のまちづくり事業

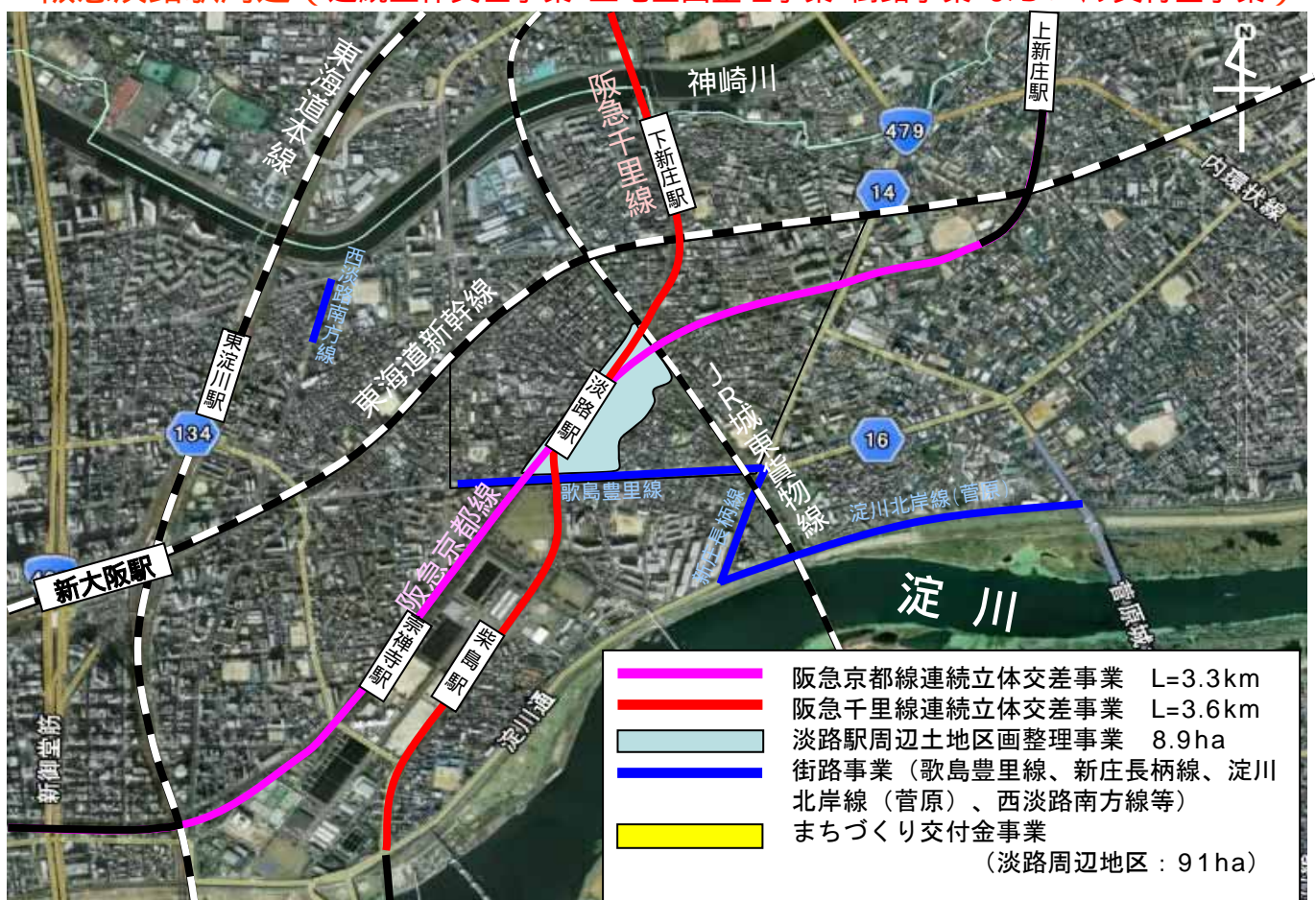
(連続立体交差事業・土地区画整理事業・街路事業・まちづくり交付金事業)

人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

「開かずの踏切」等による交通渋滞や踏切事故の解消するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化等を図るため、連続立体交差事業等を緊急かつ重点的に推進します。

阪急電鉄京都線・千里線の連続立体交差事業は、17ヶ所の踏切を除却し、道路交通の円滑化、踏切事故の解消を図るとともに、鉄道により分断されている市街地の一体化を図るとともに、淡路駅地区において土地区画整理事業で駅前広場、幹線道路及び公園等の整備を行うことで、交通の円滑化と安全で快適な歩行者空間の確保、並びに防災性の向上などを図っていきます。

### 阪急淡路駅周辺（連続立体交差事業・土地区画整理事業・街路事業・まちづくり交付金事業）



#### 【連続立体交差事業】

近畿管内の連続立体交差事業は、21事業（うち、4事業が着工準備採択）が実施中  
土地区画整理事業等を組み合わせて一体で整備している事例として、阪急淡路駅周辺事業の他に、JR福井駅、JR姫路駅、JR奈良駅などがあります。  
このうち、JR姫路駅、JR奈良駅が、H22年度に完了を予定しています。

#### 【土地区画整理事業】

建物移転補償、埋設管工事等

#### 【街路事業】

事業の促進を図る。西淡路南方線は、H22年度供用を目指します。

#### 【まちづくり交付金事業】

淡路周辺地区2期(仮称)を、H22年度から実施の予定。

## まちづくり交付金事業

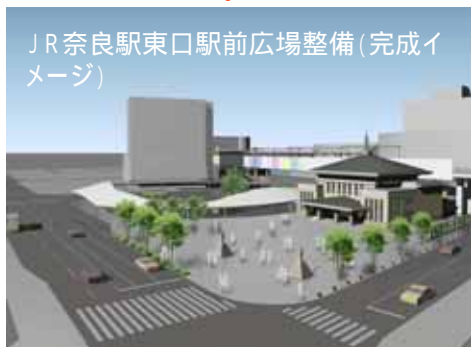
都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくり・すまいづくりを実施し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を目指します。

まちづくり交付金は、平成21年度156地区のまちづくりを支援しており、平成22年度においては、新たに17地区の要望を予定しています。

JR奈良駅周辺地区では、JR奈良駅周辺や三条通における歩行者ネットワークの強化や、旧JR奈良駅舎を移設し、観光交流施設として活用を図るなど、古都奈良の玄関口であるJR奈良駅を中心とした街の質の向上と、観光・市民交流と賑わいの拡大を目指します。

まちづくり交付金（JR奈良駅周辺地区）【H22予定】JR奈良駅東口駅前広場整備、三条線整備等



## 公営住宅の建替え等の推進

ストック型社会への対応

本格的な高齢化社会の到来を迎え、セーフティーネットとしての住宅ストックを確保することが急務です。

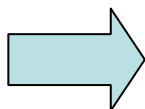
地域住宅交付金により、公営住宅の建設や面的な居住環境整備など地域における住宅施策を自主性と創意工夫を活かしながら総合的かつ計画的に推進する事業を支援しております。現在100地区の計画があり、平成22年度も引き続き支援していく予定です。

地域住宅交付金（PFIによる市営長曽根団地・深井中町団地建替等事業）堺市

深井中町市営住宅整備(完成イメージ図)



老朽化した公営住宅



【H22完成予定】  
市営住宅建設(200戸)

堺市では、PFIにより民間事業者の資金や技術力等を活用した市営住宅の建て替えを行い、市営住宅ストックの円滑な更新を行っています。



## 密集市街地の整備改善

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

地震時に大きな被害(特に大火)が生じる可能性の高い重点密集市街地を中心に、災害時の被害軽減のため、区画道路の整備、老朽建築物の建替え等を促進します。

住宅市街地総合整備事業(密集型)は、現在30箇所が整備されており、平成22年度も引き続き支援していく予定です。

### 門真市北部地区

整備前



【H22予定】老朽建築物等の除去、道路、公園整備等

整備後



門真市北部地区は、高度経済成長期に木造密集市街地が形成され、狭隘道路による緊急車両の進入が困難で、防災上の問題が心配されています。

そのため、住宅市街地総合整備事業により避難路となる道路や公園、住宅の整備を行い、安全な市街地の形成を図ります。

## 住宅・建築物の耐震化の推進

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

住宅・建築物の地震の際の倒壊等による被害の軽減を目的に、住宅(戸建住宅、マンション等)・建築物(学校・避難所等)の耐震診断、耐震改修等の実施を支援しています。

平成18年に策定された「建築物の耐震診断及び耐震改修を図るための基本的な方針」により、住宅・建築物等の耐震化が必要な建物を平成27年迄に耐震化率を9割整備することとしており、平成22年度も引き続き支援していく予定です。

### 戸建住宅の耐震改修事例



### 学校の耐震改修事例



## 都市公園・防災公園の整備

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

東南海・南海地震などの地震が発生した場合でも、国民の安全と安心の確保の観点から、都市の防災機能の向上を図るため、防災公園の整備や住宅・建築物の耐震化支援などの事業を推進します。

寝屋川公園(大阪府)では、災害時活用上、広域避難、食料物資の備蓄、災害対策要員の集結・宿営、救援物資の集積、配送機能を担う公園の整備を進めます。(平常時は大阪府下のスポーツ・レクリエーション、また芝生広場や樹林地などのレクリエーションの場となる公園として機能します。)

淡路佐野運動公園(兵庫県)は、淡路島における広域レクリエーション機能の充実を図る主要な施設として整備を進め、災害時には、淡路市地域防災計画における広域避難地として、H22年度に完成することとしています。

### 防災公園の整備

**寝屋川公園(大阪府)**  
【H22予定】南地区基盤整備 等



**淡路佐野運動公園(兵庫県)**  
【H22予定】園路広場整備等



都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

国家的イベント等の会場となる公園の整備 **紀三井寺公園(和歌山県)**

和歌山県においては、平成27年度に第70回国民体育大会開催を目指しており(現在、申請の準備中)、それに合わせた県内都市公園の新規施設整備や既存公園施設の再整備が急務となっているところです。

紀三井寺公園(和歌山県)においては、開閉会式や陸上競技、硬式野球を競技予定しており、平成22年度より既存グラウンド等の再整備に着手します。



【H22予定】  
第3種陸上競技場整備、実施設計等



# 下水道事業

都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

下水処理場の整備によって、生活環境の改善、地域の活力再生等に寄与するとともに、下水処理水の多様な用途への再利用を図り良好な水環境の創出を図ります。

大阪府では、寝屋川流域において「竜華水みらいセンター」と「なわて水みらいセンター」の2つの下水処理場をH22年内に完成させる予定です。「竜華水みらいセンター」は、完全地下化し、駅前土地区画整備事業と連携して処理場上部の有効利用を図ることとし、下水処理水は高度処理され市内を流れるせせらぎ水路やトイレ用水等に再利用を図るなど、地域再生としても期待されています。

## 下水処理場の整備

(なわて水みらいセンター)

[H22 予定] 機械・電気設備工事等



(竜華水みらいセンター)

[H22 予定] 機械・電気設備工事等



安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

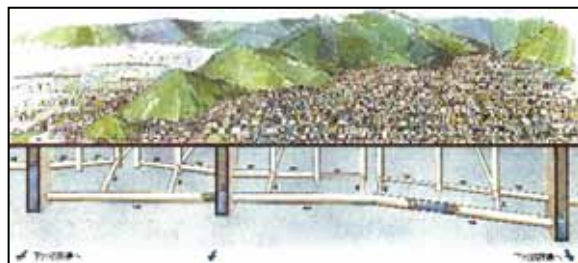
地震時における下水道が最低限有すべき機能を確保するための耐震化等を緊急的に推進しています。

神戸市では、阪神・淡路大震災を教訓に、災害に強い下水道システムの構築に取り組んでいます。ネットワーク幹線は市内5つの処理場をシールド幹線で連結することにより、1つの処理場が被災してもこの幹線を活用することで他の処理場での代替処理が可能となるものです。H22年度は垂水ネットワークポンプ場の完成をさせ供用開始を行います。

## ネットワーク幹線の整備

[H22 予定] 垂水ネットワークポンプ場整備等

ネットワーク幹線  
整備イメージ  
(総延長41km)



垂水ネットワークポンプ場



ネットワーク幹線事業計画図



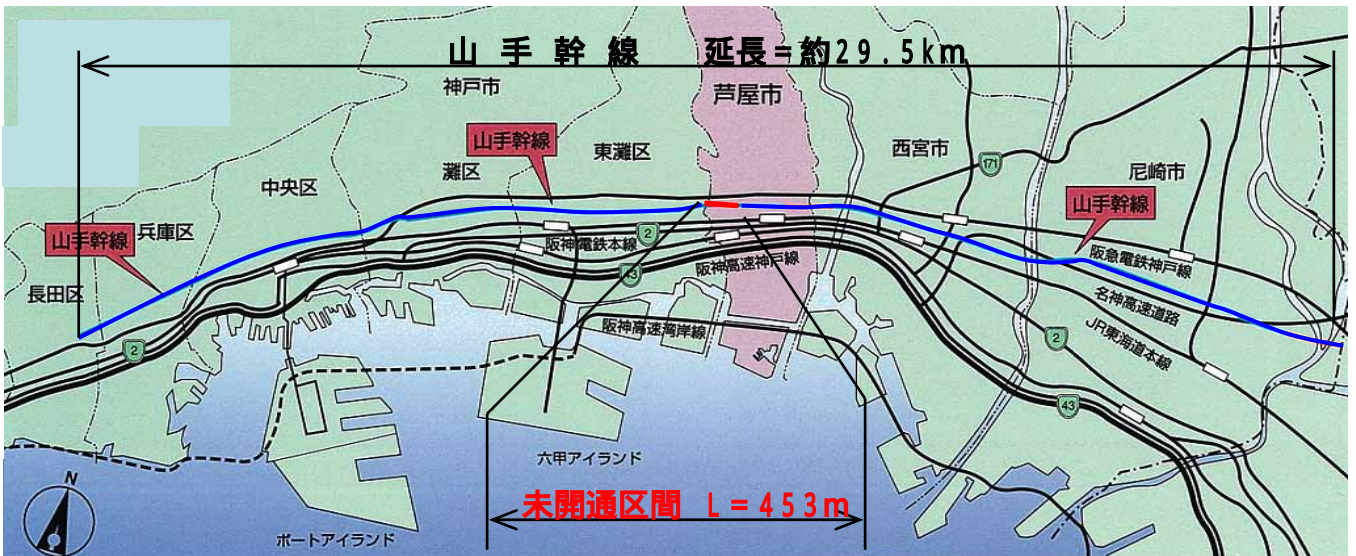
**都市計画道路 山手幹線の整備事業**

**補助事業**

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

当該路線は、大阪府から尼崎市、西宮市、芦屋市を経て、神戸市へ至る延長約29.5kmに及ぶ阪神間の東西主要幹線道路です。当計画は昭和21年に都市計画決定された戦災復興事業で、事業実施は各市毎に進められてきており、平成22年度にこの芦屋工区が完成することにより、全線供用されることになります。

これにより、地域の基幹道路となるとともに、阪神間の広域ネットワークの強化が図られ、震災時に明らかになった課題である、国道2号、国道43号とともに都市圏の防災に資する幹線道路網が形成されることになります。



山手幹線暫定供用区間の写真

**【H22実施予定】**

芦屋川の地下横断工区の完成を図ります。

- ・仮設構造物の撤去
- ・舗装
- ・標識等道路付属物の整備 等

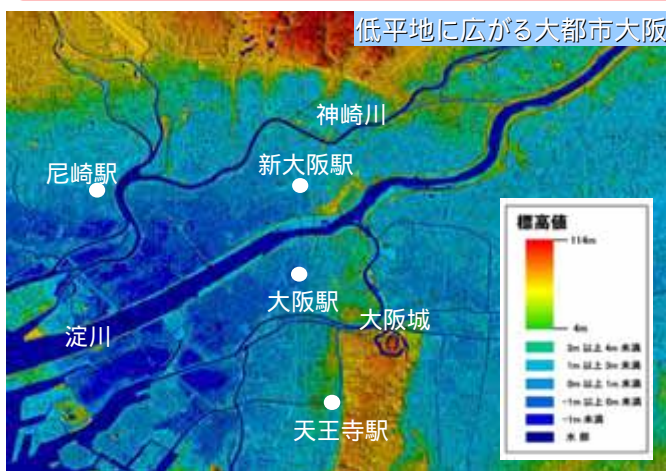
# 治水関係

## 地球温暖化による水災害の激化への対策

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

水災害による犠牲者ゼロを目指して、住民の避難活動の円滑化等を図るため、水災害予報センターにおいて高性能レーダ(Xバンドレーダ)の運用など、局地的豪雨の監視・予測の高度化に取り組みます。

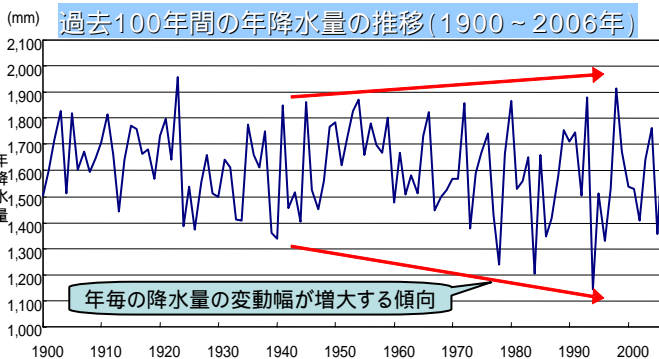
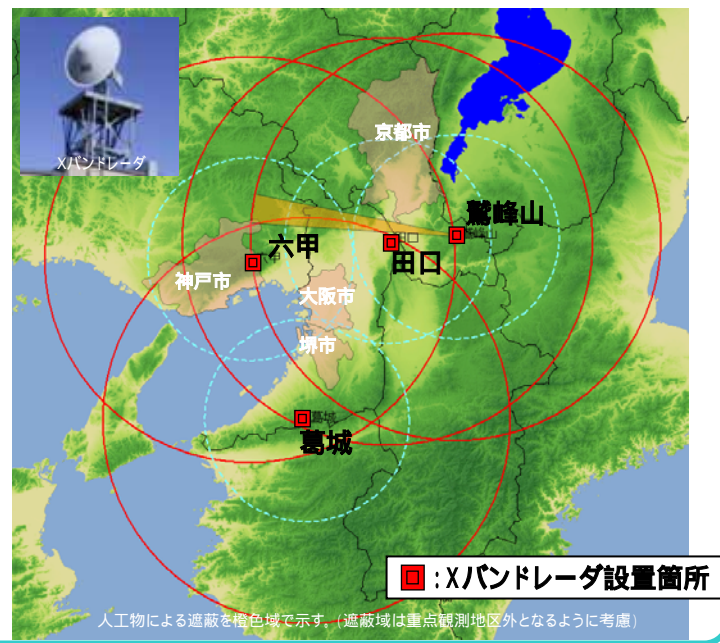
また、地球温暖化に伴う気候変化により、洪水の増大等の水災害の激化が懸念されているため、計画を上回る大規模洪水や局地的集中豪雨等への適応策を、関係機関と協力しつつ立案します。さらに、ヒートアイランド現象の緩和に資する都市内の水辺空間確保など、地球温暖化の緩和策にも取り組んでいきます。



### 詳細な降雨量分布の監視

250mメッシュで局所的豪雨の状況を詳細かつ的確に監視  
リアルタイム降雨情報の発信

10～20分間で急速に発達する豪雨に対し、1分程度毎に最新情報を提供、河川管理に活用

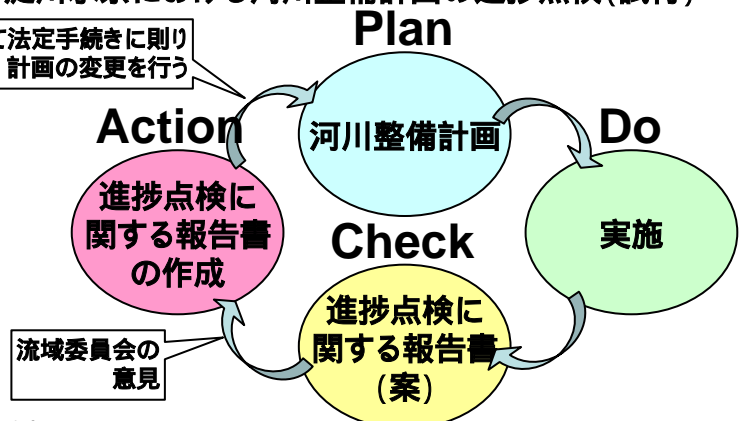


## 河川整備計画 進捗点検

### 淀川水系における河川整備計画の進捗点検(試行)

河川整備計画の進捗は、PDCAサイクルを用いて点検し、より効率的、効果的に目標の実現を図るとともに、必要に応じて計画の変更を行います。

必要に応じて法定手続きに則り計画の変更を行う

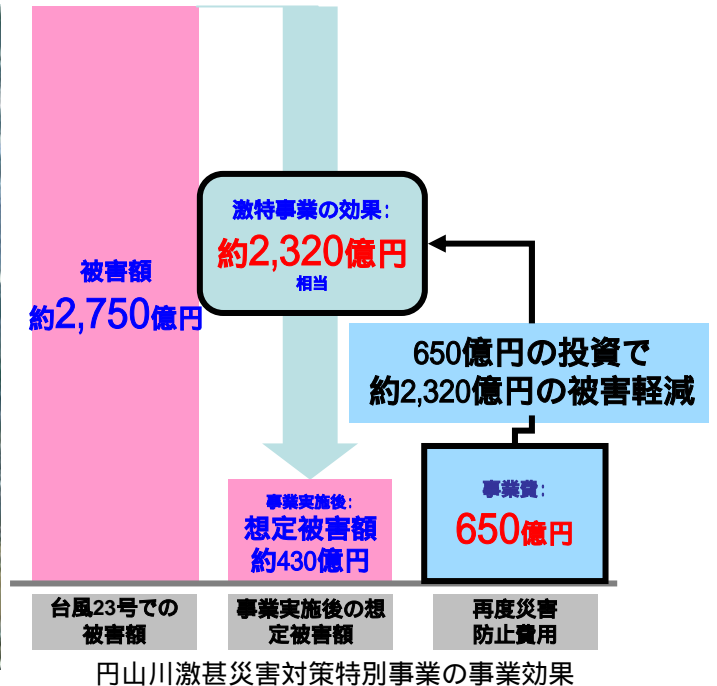




# 円山川、由良川下流部など、平成16年度災害の再度災害防止

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

平成22年度は平成16年10月の台風23号により甚大な被害が発生した円山川、加古川、洲本川の再度災害防止を目的とした河川激甚災害対策特別緊急事業を完成させます。  
また、同洪水で被災した由良川については、地域と連携を図りつつ水防災対策を平成26年度の完成を目標に推進します。



河川名	事業内容	平成21年度までの進捗状況	平成22年度の整備予定	解消床上浸水家屋数(戸)
円山川激特事業 (直轄)	河道掘削、橋梁・堰改築、堤防整備、内水対策	約92%	橋梁改築、内水対策	約3,700戸
加古川激特事業 (補助:兵庫県)	河道掘削、橋梁改築、堤防整備	約95%	河道掘削、橋梁改築、	約1,000戸
洲本川激特事業 (補助:兵庫県)	河道掘削、橋梁改築、堤防整備	約94%	河床掘削、橋梁改築、堤防整備、井堰改築	約2,700戸
由良川下流部緊急水防災対策(直轄)	18地区輪中堤、宅地嵩上げ	約42%	福知山市の河守、千原・尾藤、北有路、南有路、公庄地区、二箇、三河、舞鶴市の水間・中山、志高、大川地区、上東、桑飼下、における輪中堤整備	約950戸

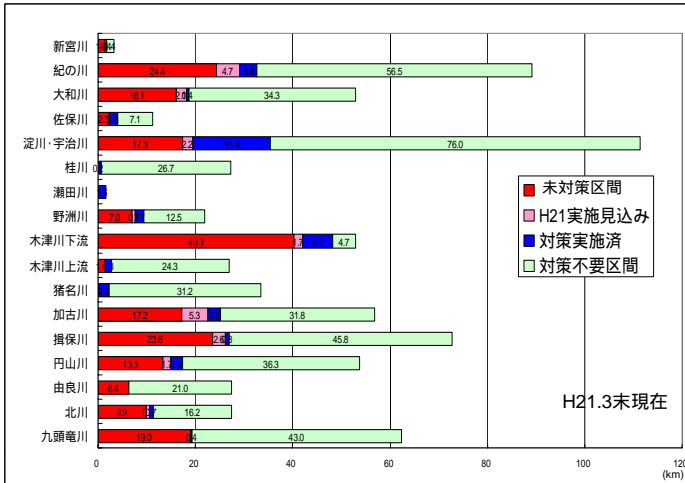
# 堤防の信頼性向上・まちづくりと一体となった高規格堤防の整備

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

既存堤防の安全を確保するため、平成14年度から浸透に対する安全性の調査を国管理区間約735kmの既設堤防を対象に実施し、平成19年度末までに完了。

平成22年度は、堤防裏法面が崩れやすく、かつ被災履歴のある優先対策区間を中心に対策を実施します。

## 詳細点検結果と対策実施延長



点検の結果、約264km(約36%)堤防強化が必要であり、平成21年3月までに約40kmの対策が完了。

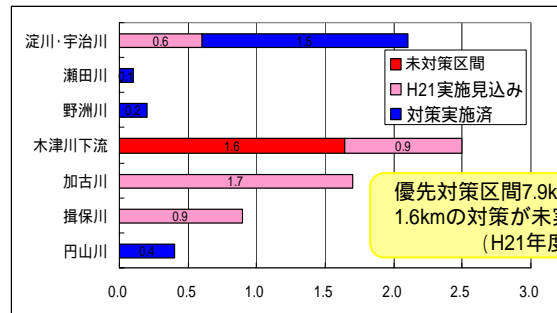
## 堤防強化施工事例(ドレーン工法)



木津川での対策事例



## 優先対策区間の対策状況

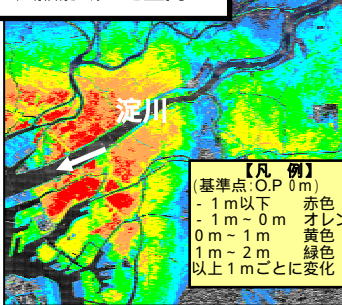


優先対策区間7.9kmのうち、1.6kmの対策が未実施。(H21年度末見込み)

人口・資産が高度に集積した大阪平野を堤防の決壊による壊滅的被害から未然に防ぐため、沿川のまちづくりにあわせて、市街地側に盛土を行い、幅の広い堤防(高規格堤防)の整備を行います。

平成22年度は引き続き、都市再生プロジェクトを推進し、関西のミッシングリンク解消に向けて、環状道路の一部となる阪神高速大和川線・淀川左岸線と一体的に整備する区間を重点的に進めます。

## 大阪府域の地盤高さ



地盤の低い地帯が広がる大阪平野では、堤防の決壊により壊滅的被害が発生します。



## B

## 都市再生プロジェクト『新たな環状道路との一体整備』



高規格堤防と大和川線を一体的に整備することにより、堺市中心部を含めた約1,000haの氾濫被害が解消。

# 洪水被害から流域住民の暮らしを守るダム建設事業等

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

ダム事業は、河川改修とあいまって洪水を貯留することにより、下流の水位低下を図るとともに、貯留した水による安定的な都市用水の供給・発電を行い、安全・安心な生活を支えます。

## 大滝ダム（紀の川水系紀の川）

紀の川沿川地域の水害を軽減するための洪水調節、水道用水および工業用水の供給、河川の本来持っている機能の維持、水力発電を目的として平成24年度完成に向けて事業を実施しています。

平成22年度は、大滝地区および迫地区の地すべり対策を引き続き実施します。



大滝ダム位置図



大滝ダム本体

## 大戸川ダム（淀川水系大戸川）

淀川、宇治川、大戸川の水害を軽減するため洪水調節専用目的の流水型ダムとして計画しています。

淀川水系河川整備計画に基づき、ダム本体工事については、中・上流部の河川改修の進捗状況とその影響を検証しながら実施時期を検討することとします。また、これまで進捗してきた準備工事である県道大津信楽線の付替工事については、交通機能を確保できる必要最小限のルートとなるよう見直しを行うなど徹底的にコストを縮減した上で継続して実施していきます。

平成22年度は、県道付替工事の進捗を図ります。

## 天ヶ瀬ダム再開発（淀川水系宇治川）

淀川、宇治川の水害を軽減するための洪水調節、琵琶湖周辺の洪水防御、京都府南部の水道用水の供給及び発電を目的として事業を推進します。

平成22年度は、工事用道路の進捗及びトンネル式放流設備の設計等を実施します。

## 足羽川ダム（九頭竜川水系部子川）

九頭竜川、日野川、足羽川の下流域における水害を軽減するため洪水調節専用目的の流水型ダムとして計画しています。ダム本体と併せて他流域の4河川の水害を導水するための分水施設および導水路を整備することとしています。

平成22年度は、用地取得に着手し、生活再建の対策を進めるとともに、ダム本体・付替道路等の設計を実施します。



足羽川ダム位置図

## 上野遊水地（淀川水系木津川上流）

上野盆地の常習的な湛水被害を防ぐべく、出水時に一時的に洪水を湛水させ、氾濫区域を縮小させることを目的として遊水地の整備を実施しています。

平成22年度は、引き続き新居・小田・木興遊水地の整備を推進します。

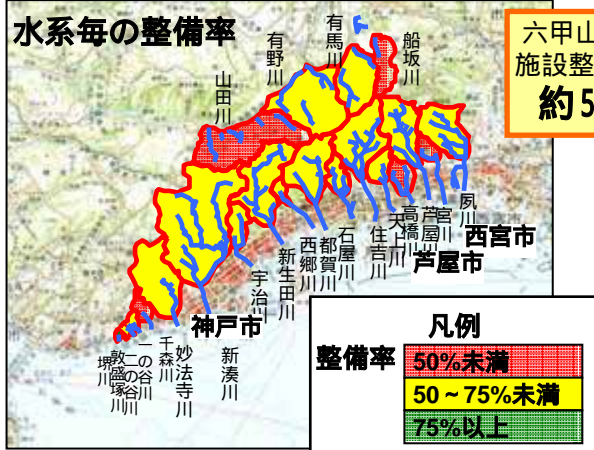


# 六甲山系における砂防施設の整備

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

六甲山系砂防事業では、六甲山からの土砂流出をコントロールし、人口と資産の集中した都市域を土砂災害から保全することを目的に実施しています。

平成22年度は、災害時要援護者施設や重要交通ネットワークを保全する砂防施設を中心に整備を実施します。また既設砂防施設の補強、補修等による機能の追加、延命などに関する整備を進めます。



## 整備予定の砂防施設例

桜ヶ丘堰堤 (H22完成予定)  
 保全対象：災害時要援護者施設(2箇所)、人家(1,108戸)



# 河川管理施設の長寿命化対策

ストック型社会への対応

効率的・効果的な維持管理の実現を目指して、PDCAサイクルを用いて点検・整備を行い、老朽化への対応が課題となっている河川管理施設の修繕において、長寿命化対策を実施することによりライフサイクルコストの低減を図ります。

## 毛馬排水機場のゲート設備の場合



改善内容  
 ・部材の材質



※損耗の激しい部材の材質を腐食に強いSUSに変更することで、維持修繕に係るコストを縮減。  
 河川管理施設を正常に機能させるため、定期的な点検・整備を行っています。  
 点検結果を基に、計画的な設計・維持修繕を行っています。  
 河川管理施設の信頼性を確保しつつ、コスト縮減を実施して維持修繕しています。

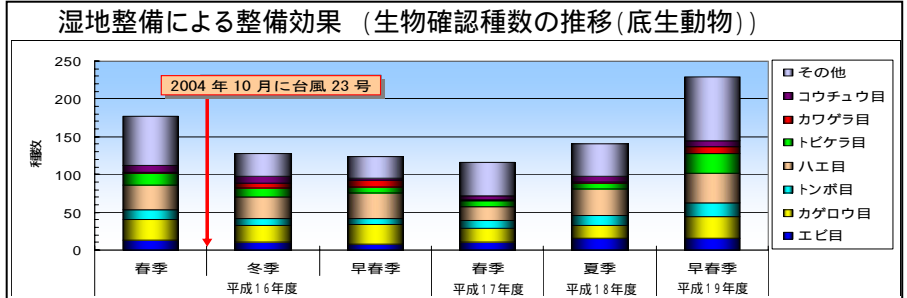
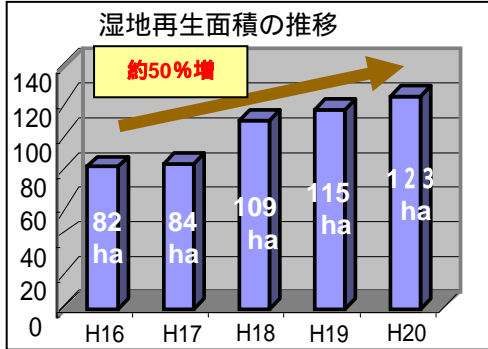
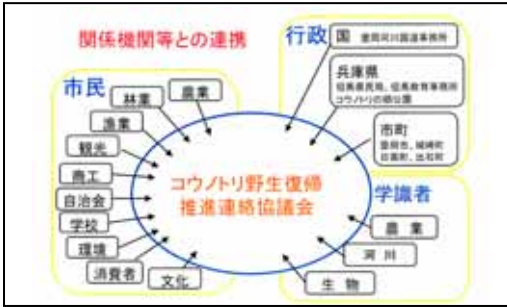
# 生態系の保全を促進する自然再生事業

## 都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

### 【円山川水系での取り組み】

円山川流域では、国の天然記念物であるコウノトリと人が共生できる地域づくりを目指し、官民一体となった取り組みを進め、野生復帰実現のための環境整備を進めています。

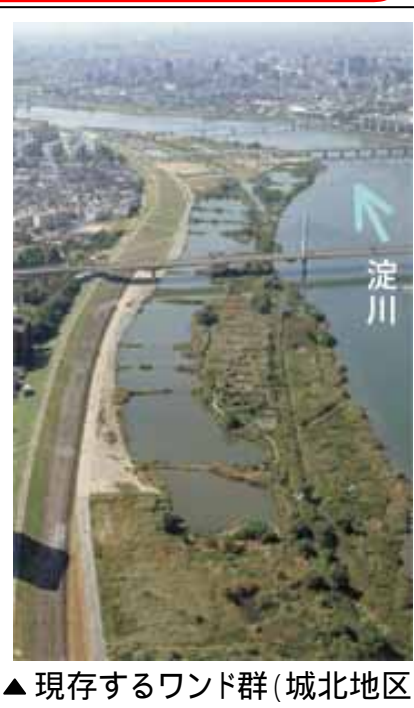
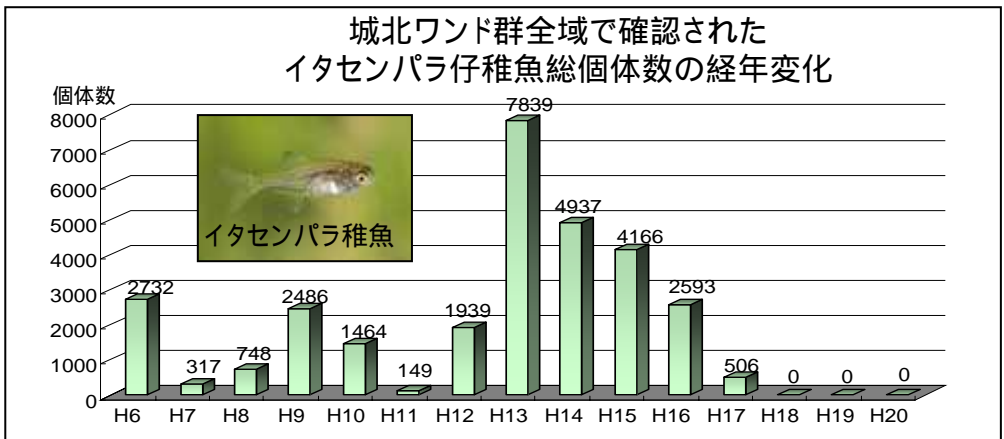
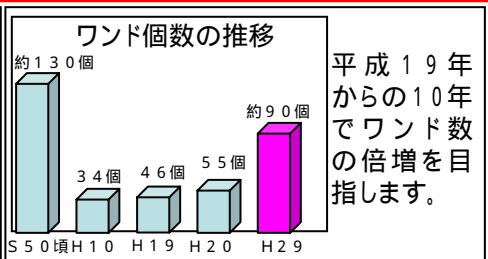
平成22年度は、出石川加陽地区において大規模湿地の再生を平成21年度に引き続き実施します。



### 【淀川水系での取り組み】

淀川のワンドは、河川改修などにより減少し、近年、イタセンパラ稚魚調査で稚魚が確認されていない状況です。イタセンパラを含め在来種にとって望ましい生息環境の復元を目指します。

平成22年度は平成21年度に引き続き、ワンドの造成、モニタリングを実施し、平成29年度の完成に向けてワンドの保全・再生を進めます。





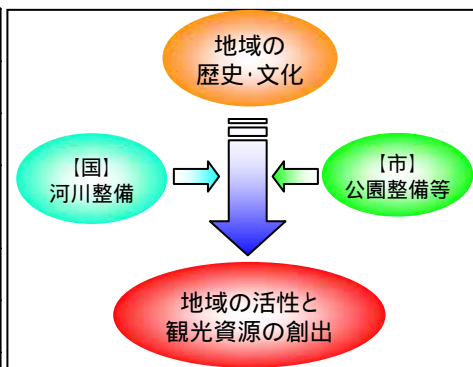
# 地域の魅力・活力を向上させる地域連携事業(かわまちづくり支援制度)

都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

住民・市町村等と河川管理者が連携して、まちづくりと一体となった河川空間の創出や良好な河川空間を創出する「かわまちづくり支援制度(平成21年度創設)」などの地域連携事業を推進します。

## [H21年度かわまちづくり支援制度認定箇所]

都道府県名	申請主体	水系名	河川名	計画名
滋賀県	大津市	淀川	瀬田川	瀬田川かわまちづくり
兵庫県	宍粟市	揖保川	揖保川	今宿・中広瀬地区かわまちづくり
和歌山県	新宮市	新宮川	熊野川市田川	新宮地区かわまちづくり
和歌山県	橋本市	紀の川	紀の川	橋本地区かわまちづくり
京都府	南山城村	淀川	木津川	南山城村地区かわまちづくり
奈良県	大和郡山市	大和川	佐保川	大和郡山市かわまちづくり



### [瀬田川かわまちづくりの実施事例]

地域の歴史、文化遺産や、大津市が整備した公園などを結ぶ散策路整備を行います。



**円山川激甚災害対策特別緊急事業**

**直轄事業**

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

円山川では、平成16年10月の台風23号により、死者5名、負傷者51名、浸水家屋被害10,332戸(床上浸水4,974戸、床下浸水5,358戸)という甚大な被害を受けました。

この災害を受け、再度災害防止を目的に激甚災害対策特別緊急事業が採択され、河道掘削、築堤、橋梁架替、堰改築、内水対策等を実施し、平成22年度完成を予定しています。



**大谷川床上浸水対策特別緊急事業**

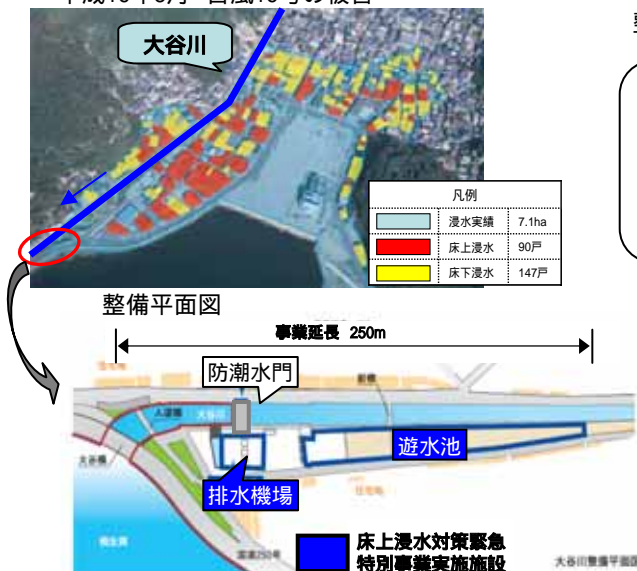
**補助事業**

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

大谷川では、平成16年8,9月の台風16,18号により、多くの浸水被害を受け、特に台風16号では、家屋被害237戸(床上浸水90戸、床下浸水147戸)の被害を受けました。

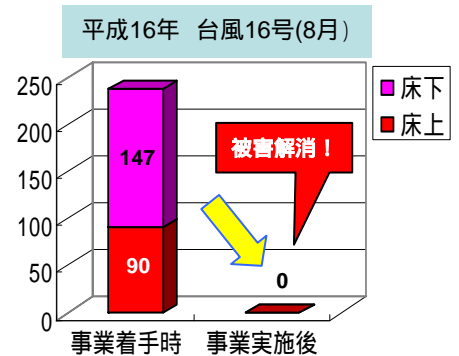
この災害を受け、再度災害防止を目的に床上浸水対策特別緊急事業が採択され堤防、遊水池及び排水機場の整備等を実施し、平成22年度完成を予定しています。

平成16年8月 台風16号の被害



整備効果

平成16年の台風16号(8月)台風18号(9月)の洪水を安全に流下できるようになります。



高潮の浸水防止のため、防潮水門閉鎖時の内水排除として、洪水の一時貯留施設となる遊水池と排水ポンプ2台を設置。



### Ⅲ. 道路関係

#### 基幹ネットワークの整備

歴史・文化を活かした地域づくり

アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

近畿圏の発展に向け、産業・観光等を支える地域内外の交流・連携ネットワークの強化、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、環境負荷の軽減、物流の効率化等を図るため、京奈和自動車道等の環状道路の整備や近畿自動車道紀勢線、中部縦貫自動車道、京都縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道等、基幹となるネットワークを構成する路線の整備を重点的かつ効率的に推進します。

#### 近畿圏の 高規格幹線道路網図



#### 近畿圏の環状道路ネットワーク

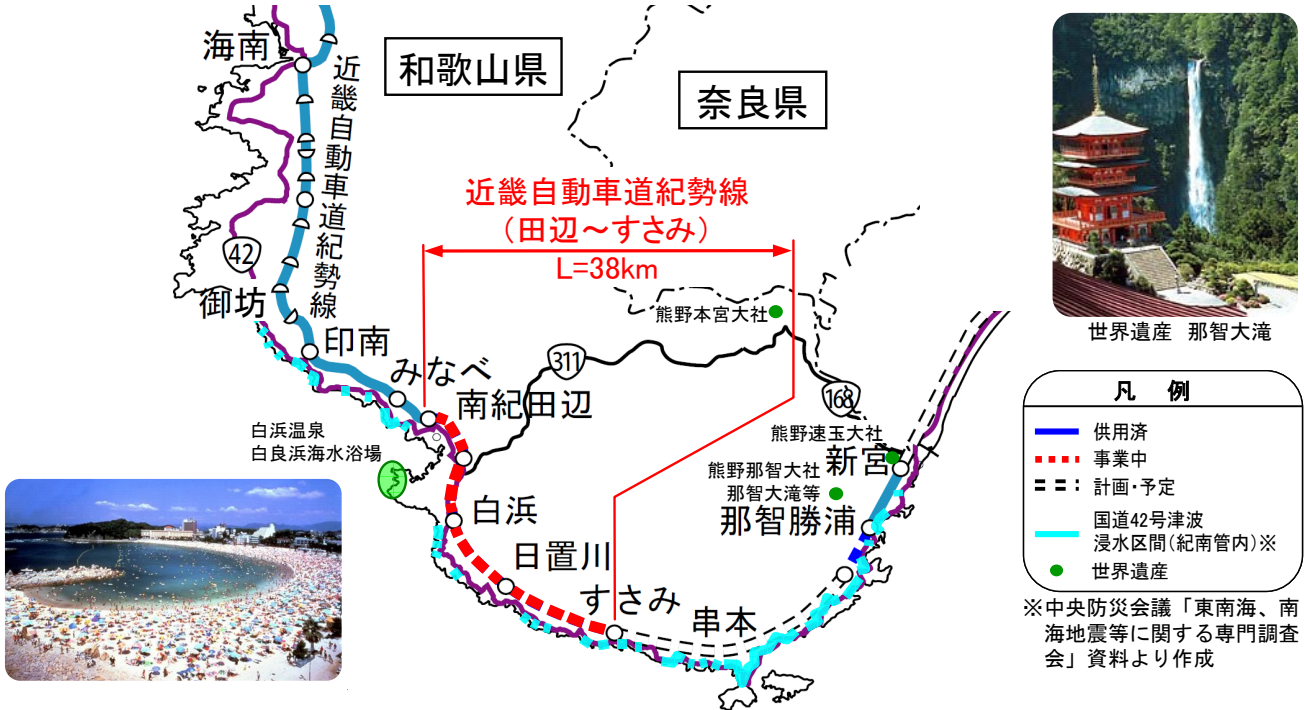


※平成21年度末現在(想定)



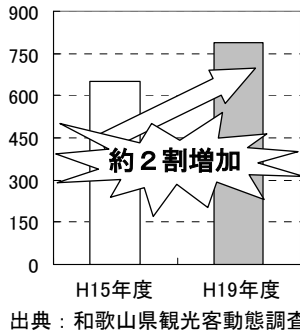
## 近畿自動車道紀勢線(田辺～すさみ)

紀南地域はH16年に『紀伊山地の霊場と参詣道』の一部として世界遺産に登録されるなど観光資源の多い地域です。当事業の整備により、京阪神圏と紀南地域が高速自動車国道で結ばれ、各都市と紀南地域との移動時間が短縮されることで、産業・観光の振興、生活圈・活動圏の拡大による地域の活性化が期待されます。また、災害時には国道42号の代替路としての機能や救急医療にも力を発揮する高速自動車国道であり、平成20年代後半の早い時期の供用に向けて引き続き事業を推進します。



### ■紀勢線(御坊～南紀田辺)の開通により観光客が増加

- ・紀勢線が南紀田辺ICまで開通したことや、H16年の世界遺産登録等により、沿線市町(田辺市、上富田町、白浜町、すさみ町)ではH15年度からH19年度で観光客が約140万人増加しています。



- ・紀勢線の開通状況  
H15.12月(御坊～みなべ)  
H19.11月(みなべ～南紀田辺)

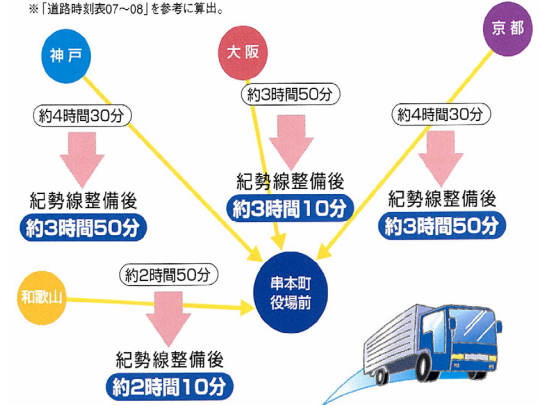
### ■緊急医療活動への貢献

三次救急医療施設(南和歌山医療センター)への緊急患者の搬送時間が短縮されます。(約60分→約29分：約30分短縮)

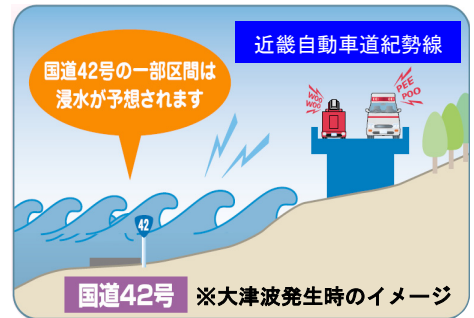


### ■京阪神との交流促進に期待

紀勢線(田辺～すさみ)の整備前後で変わる各都市からの時間距離  
※「道路時刻表07～08」を参考に算出。



### ■災害時の交通確保



### ■平成22年度 事業内容

- ・近畿自動車道紀勢線(田辺～すさみ) L=38km 全線において、工事を推進。

# 産業・経済を支える幹線道路網の整備

アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

大阪湾ベイエリア等の空港・港湾へのアクセス性や地域間の連携強化、慢性的な交通渋滞の緩和を図るため、幹線道路ネットワークの整備を推進します。

## 第二阪和国道

泉州南部地域は国道26号の沿線に新興住宅地、商業・レジャー施設等が点在しているため国道26号で慢性的な交通渋滞が発生しています。当事業は、国道26号の慢性的な渋滞緩和を図り、関西国際空港等への移動時間の短縮による物流の効率化、地域の活性化に寄与する路線として、平成22年度に一部区間の供用を予定しています。

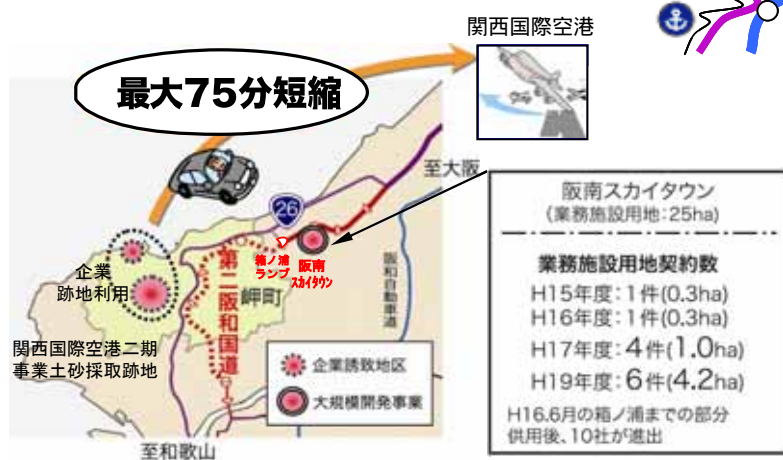


トンネル工事施工状況



### 整備効果

関西国際空港や和歌山下津港までの移動時間が短縮されることで物流の効率化が図られ、新たな企業立地等、地域の活性化が期待されます。



### 平成22年度 事業内容

・国道26号第二阪和国道(大阪府阪南市箱作～大阪府泉南郡岬町淡輪) L=2.8km  
箱ノ浦～淡輪ランプ(仮称)区間の平成22年度供用を予定。



# 地域の生活を支える幹線道路の整備

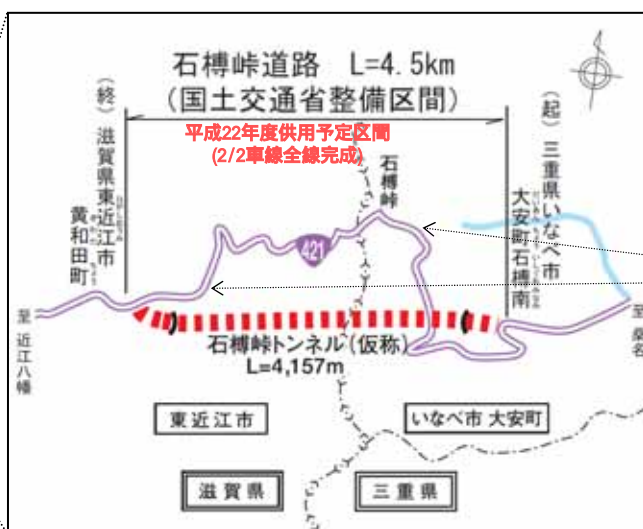
人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

安全で安心な日常の暮らしを支えるため、生活圏中心部への移動や救急活動に不可欠な生活幹線道路ネットワークの整備を推進します。

## 国道421号石榑峠道路、国道168号十津川道路

国道421号石榑峠道路、国道168号十津川道路の現道は、幅員が狭く急カーブが続く線形不良区間や、すれ違いが困難な箇所が連続しています。又災害や積雪による通行止めが発生しています。安心して安全な交通の確保、緊急医療機関へのアクセス向上など、地域の生活を支える幹線道路として、国道421号石榑峠道路(H22年度全線供用予定)、国道168号十津川道路(H22年度一部供用予定)の整備を推進します。

### 国道421号石榑峠道路

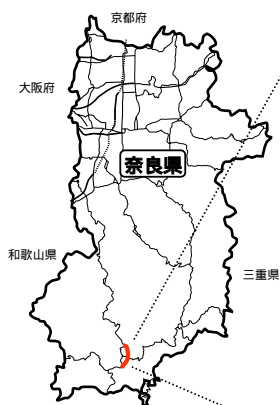


幅員狭小・線形不良区間の状況



積雪による通行止めの状況  
(1年の約1/3が通行不能)

### 国道168号十津川道路



崩土・落石による通行止状況  
(十津川村小原 H17年10月)



すれ違い困難箇所の状況

### 平成22年度 事業内容

- ・国道421号石榑峠道路(三重県いなべ市大安町～滋賀県東近江市黄和田町) L=4.5km  
平成22年度全線供用を予定。
- ・国道168号十津川道路(奈良県吉野郡十津川村大字折立～十津川村大字高滝) L=2.3km  
平成22年度一部供用を予定。



# バリアフリー化の推進

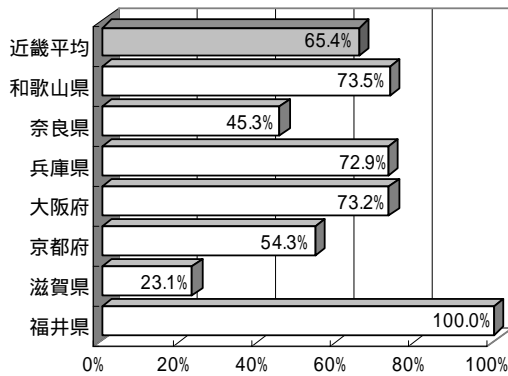
人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

少子高齢化を踏まえ、誰もが元気に生活できる地域を目指し、高齢者・障害者も含め全ての人の行動を支えるため、バリアフリー化された歩行空間ネットワークの整備を推進します。平成22年度は重点整備地区 においてバリアフリーの整備を推進します。

近畿圏の1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設周辺の主要道路のバリアフリー化率は65.4% (平成18年度末 直轄国道のみ) となっています。

全人口に占める65歳以上の割合が平成16年(2004年)には19.5%に、さらに平成37年(2005年)には28.7%にまで増大すると推計されています。

都道府県別(直轄国道)バリアフリー化率(平成18年度末)



出典:平成18年度道路行政の達成度報告書(国土交通省)

府県別高齢化率の推移

	平成16年 (2004年)	平成37年 (2025年)
<b>全国</b>	<b>19.5%</b>	<b>28.7%</b>
福井県	22.2%	30.2%
滋賀県	17.5%	24.5%
京都府	19.7%	28.6%
大阪府	17.5%	27.4%
兵庫県	19.1%	27.4%
奈良県	19.1%	30.0%
和歌山県	23.2%	32.2%

高齢化率:全人口に占める65歳以上の割合

出典:平成16年は総務省「平成16年10月1日現在推計人口」、平成37年は国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)」

重点整備地区:旅客施設、官公庁施設、福祉施設等の所在を含み、かつ、施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区等。

## 平成22年度 事業内容

- ・国道2号新在家横断歩道橋整備事業(兵庫県加古川市新在家地先)、他6箇所

## 国道2号 新在家横断歩道橋整備事業

当該歩道橋(特定道路に指定)は、JR東加古川駅等の公共施設が近接しているため、高齢者等多くの方々に利用されています。このため、バリアフリー化(エレベーター設置、平成22年度完成予定)を推進します。



現況写真(新在家横断歩道橋)



整備後



完成イメージパース

# 通学路等における安全・安心な歩道空間の創出

人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

人優先の安全・安心な歩行空間を形成するため、事故の危険の高い通学路等において、重点的に対策を実施します。

近畿管内(直轄国道) 通学路全体延長 約294km



近畿地方整備局調べ(H21.3末)

整備イメージ



整備前  
(一般国道29号 宍粟市山崎町田井地先)



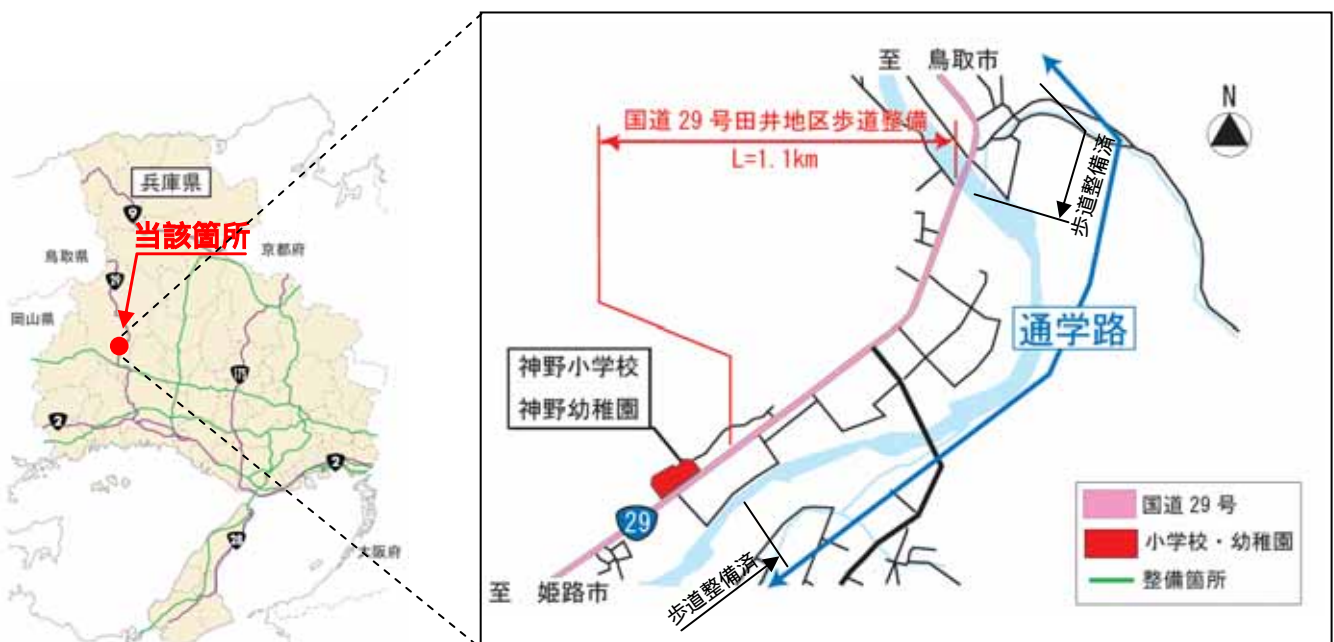
整備事例  
(一般国道9号 京丹波町水原地先)

平成22年度 事業内容

・国道29号 田井地区歩道整備事業(兵庫県宍粟市山崎町田井地先)、他34箇所

## 国道29号 田井地区歩道整備事業

宍粟市山崎町田井地先の国道29号は小学校の通学路であり、児童の安全・安心な歩行空間を形成するため歩道を整備します。



# 災害に強いライフラインの構築

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

共同溝は都市生活に必要不可欠な電話・電気・ガス・水道・下水道などのライフラインを道路の地下にまとめて収容する構造物です。

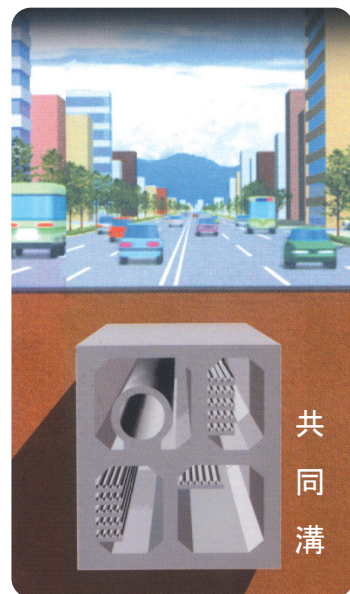
共同溝を整備することにより、地下埋設物による道路の掘り返しを防止し、これらを集約することにより道路空間の有効利用が図れます。また、共同溝は、台風や火災などの被害を受けることがほとんどなく、また地震時も地上の構造物に比べ直接影響を受けにくいことから、ライフラインの安全性・信頼性を確保することが出来ます。

## 国道9号京都西共同溝

国道9号京都西共同溝は、道路交通が著しく輻輳する京都市下京区～西京区間での道路占用工事等の度重なる道路の掘り返しを防止し、台風・火災・地震等から京都市のライフラインを守ることを目的に整備を推進します。

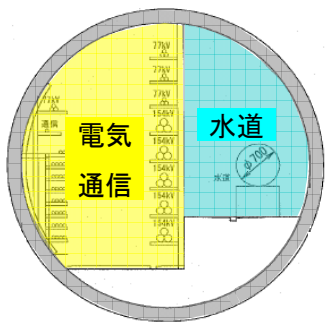


■ 共同溝イメージ図



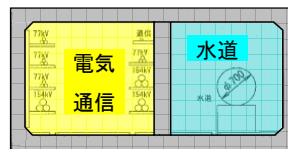
### ■ 標準断面図

【西大路～久世梅津北野線】



- ・延長：2,800m
- ・内径：4.8m

【七本松通～西大路】



- ・延長：520m
- ・形状：4.8m × 2.1m

### ■ 平成22年度事業内容

- ・国道9号京都西共同溝(京都市下京区中堂寺粟田町～京都市西京区上桂東ノ口町)L=3.32km 七本松通～西大路区間の共同溝、立坑の掘削工事に着手予定。



# 高齢化する橋梁の予防的補修による延命化

ストック型社会への対応

近畿地方の直轄国道における橋梁は、その多くが万国博覧会の開催前後に集中して建設され、約20年後には、約6割の橋梁が建設後50年以上を迎え、計画的な維持管理による延命化が課題となっています。

平成18年度には、橋梁点検において、奈良県の名阪国道山添橋で橋梁主桁に亀裂が発見され、平成19年度には滋賀県の国道1号白川橋で橋梁垂直部材に亀裂を発見し、予防的補修を行っています。

平成22年度も引き続き、橋梁定期点検結果に基づき、計画的に予防的補修を行い、橋梁の延命化を図っていきます。

## 橋梁の予防的補修

橋梁定期点検で損傷箇所が発見された橋梁については、計画的に、クラック注入や炭素繊維補強等の予防的補修を行い、橋梁の延命化を図っていきます。

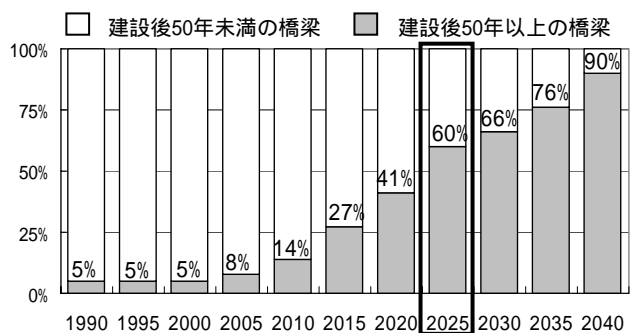
平成20年度末までの橋梁定期点検結果より、早急に補修が必要である橋梁は約1,100橋であり、平成22年度迄に約40%補修が完了する予定です。

## 高齢化する近畿直轄国道の橋梁

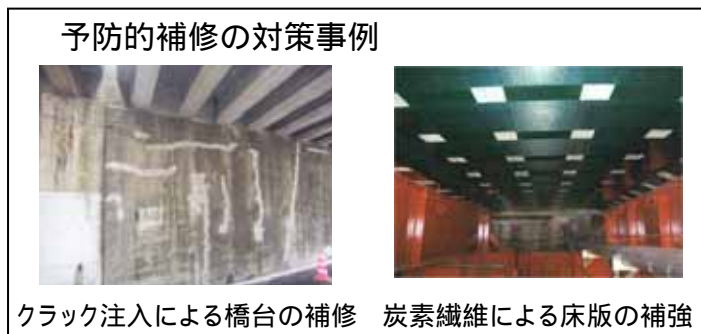
15年後には、近畿地方の直轄国道における約6割の橋梁が建設後50年以上を迎えることになり、計画的な維持管理による延命化が必要となります。

右図は近畿地方整備局管内の橋長15m以上の橋梁を対象としています。

## 建設後50年以上の橋梁が占める割合の推移



## 橋梁点検で発見された橋梁の損傷事例



## ■平成22年度 事業内容

- ・国道27号 万代橋橋梁補修(京都府舞鶴市浜地先)、他224橋

## 平成22年度 主な開通予定箇所

### 【直轄事業】

#### (1) 地域高規格道路

	府 県 名	路 線 名	箇 所 名	区 間	
				区 間	延長 (車線数)
1	大阪府	国道26号	第二阪和国道	阪南市箱作 ～ 泉南郡岬町淡輪	2.8km (2/4)
2	滋賀県	国道161号	西大津バイパス	大津市南志賀 ～ 大津市横木一丁目	5.6km (4/4)
3	滋賀県	国道161号	志賀バイパス	大津市北小松 ～ 大津市北比良	3.4km (2/4)
4	奈良県	国道168号	十津川道路	吉野郡十津川村大字折立 ～ 同村大字高滝	2.3km (2/2)

#### (2) 一般国道

	府 県 名	路 線 名	箇 所 名	区 間	
				区 間	延長 (車線数)
5	滋賀県	国道421号	石樽峠道路	いなべ市大安町石樽南 ～ 東近江市黄和田町	4.5km (2/2)
6	兵庫県	国道29号	姫路北バイパス	姫路市相野 ～ 姫路市林田町下伊勢	1.5km (2/4)

### 【補助事業】

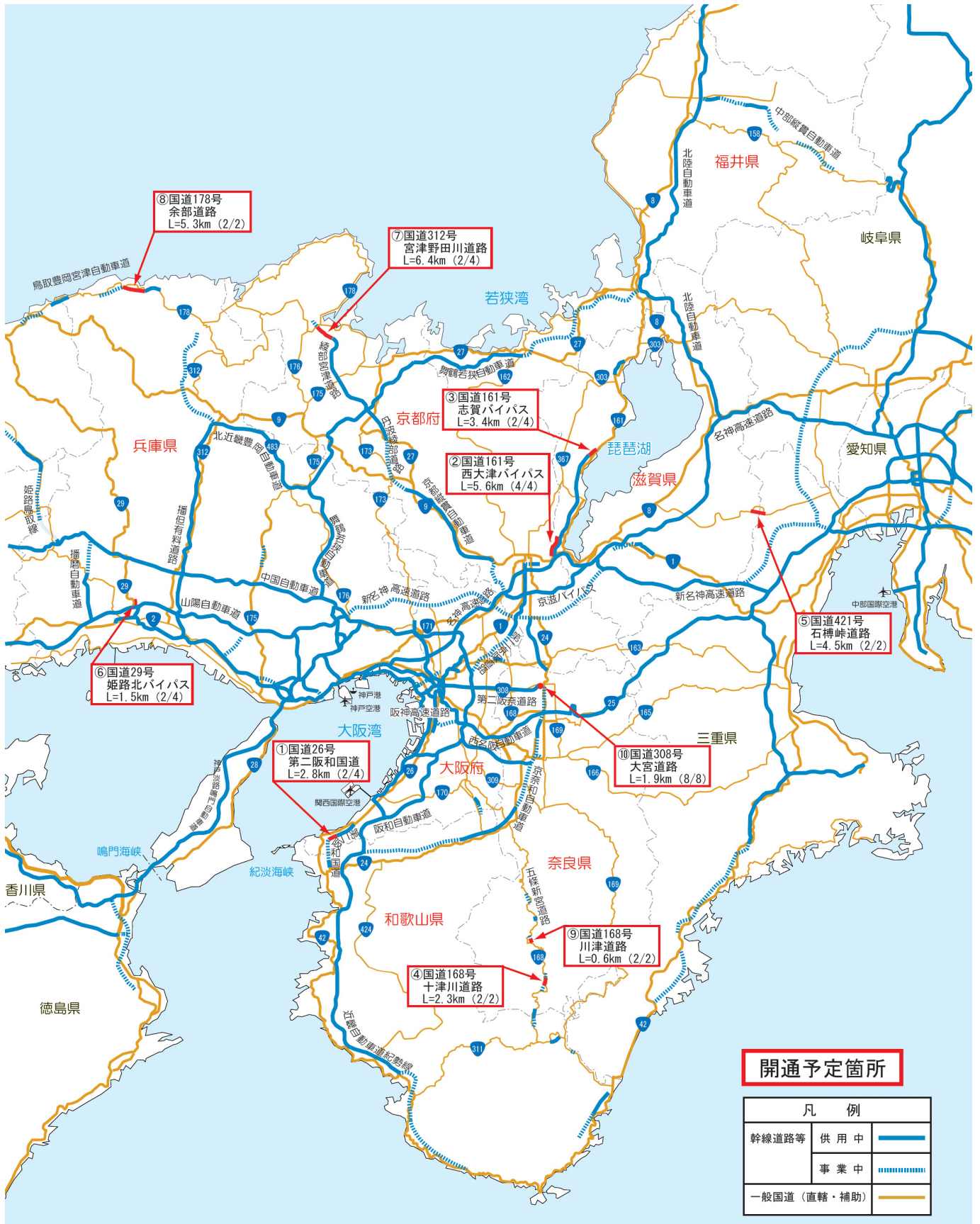
#### (1) 地域高規格道路

	府 県 名	路 線 名	箇 所 名	区 間	
				区 間	延長 (車線数)
7	京都府	国道312号	宮津野田川道路	宮津市喜多 ～ 宮津市須津	6.4km (2/4)
8	兵庫県	国道178号	余部道路	美方郡香美町香住区森 ～ 美方郡香美町香住区余部	5.3km (2/2)
9	奈良県	国道168号	川津道路	吉野郡十津川村川津 ～ 吉野郡十津川村高津	0.6km (2/2)

#### (2) 一般国道

	府 県 名	路 線 名	箇 所 名	区 間	
				区 間	延長 (車線数)
10	奈良県	国道308号	大宮道路	奈良市宝来 ～ 奈良市三条大路5丁目	1.9km (8/8)

# ◆平成22年度 開通予定箇所図



## 開通予定箇所

凡 例	
幹線道路等	供用中 <span style="color: blue;">——</span>
	事業中 <span style="color: blue;">- - - - -</span>
一般国道(直轄・補助)	<span style="color: orange;">——</span>

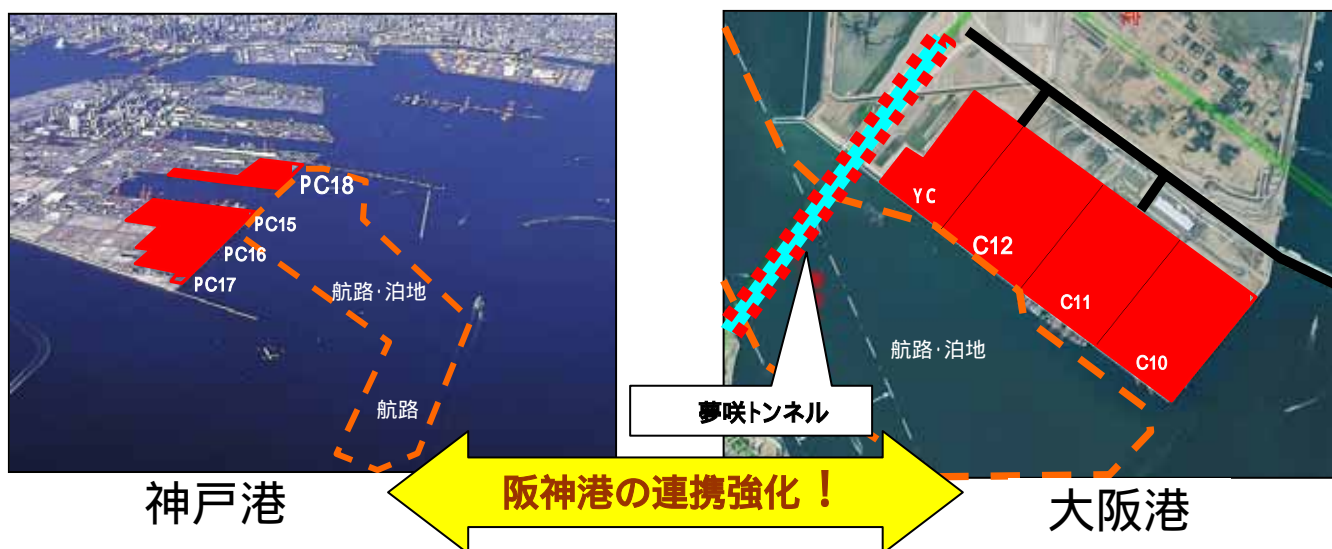


## 港湾空港関係

### 阪神港スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

平成17年6月に設置された国際物流戦略チームの取り組みの一環として、スーパー中枢港湾に指定された神戸港・大阪港において、世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準を実現するため、大水深岸壁(水深16m)を備えた高規格コンテナターミナルの整備や臨海部物流拠点の形成を図るとともに、コンテナターミナルのゲートオープン時間拡大及び内航フィーダーサービス等の充実等のモデル事業の推進など、スーパー中枢港湾プロジェクトの仕上げに向けた取り組みを行います。



《スーパー中枢港湾プロジェクトの事業効果》

- 目 標 - 世界トップクラスのコスト・スピード・サービスの実現 -
- ・ 港湾コスト ; 現状より約3割低減を目指します。
  - ・ リードタイム ; 現状2日を1日程度まで短縮(シンガポール港と同レベル)。

(平成22年度実施予定)

高規格コンテナターミナルの荷役機械等の整備を行うとともに、航路・泊地の浚渫等を引き続き行います。神戸港においては水深16m化が実現します。

国際物流戦略チームの取り組み

スーパー中枢港湾「阪神港」、関西国際空港、広域幹線道路等の物流体系の広域的な連携の強化を図り、国際物流のより一層の効率化を実現することにより、関西経済の活性化を目指す。そのため、産学官が一体となって各種方策に取り組んでいます。

- ・ 各港連携による入港料の低減(H19.4実施)
- ・ 大阪湾諸港の一開港化実現によるトン税等の軽減(H19.12実施 阪神港誕生)

## 既存ストックの有効活用による地域経済の活性化への支援

アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

近畿唯一の日本海側の重要港湾である舞鶴港の機能強化を図るため、舞鶴港前島地区において、国内定期フェリーの大型化への対応として、既存の複合一貫輸送ターミナル施設を水深9mに増深改良することにより、輸送を効率化し、物流コスト及び環境負荷の低減を図ります。

### 《事業の効果》

本事業の実施により、西日本と北海道の間で増加する宅配便、原乳、野菜等の大量の複合一貫輸送に対して、大型高速フェリーの有効活用が可能となり、輸送効率と環境負荷の抑制に優れた国内物流体系が確保されます。

### 《平成22年度実施予定》

岸壁の増深改良等を引き続き推進します。



## 大阪国際空港の整備

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

航空における安全・安心の確保のため、空港等の耐震対策を計画的に実施します。平成22年度は、空港地下道について、耐震性の向上を図る改良工事を推進します。また、大阪国際空港は整備から40年を過ぎ、施設の老朽化が顕著であるため改良工事を実施する必要があります。平成22年度は、空港基本施設(滑走路)について、航空機の安全運航を確保するため、機能向上を図る改良工事を推進します。



空港平面図



アスファルト舗設改良状況



# 堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点整備事業の推進

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

京阪神都市圏における大規模地震発生時の緊急物資の広域輸送や応急復旧活動等の災害対応力の向上を図るため、堺泉北港堺2区において、基幹的広域防災拠点としての高次支援機能を担う緑地、港湾広域防災拠点支援施設、臨港道路及び近接する耐震強化岸壁の整備を推進します。

また、平常時は臨海部の立地を活かして、住民が憩える親水性を備えた緑地として利用されます。

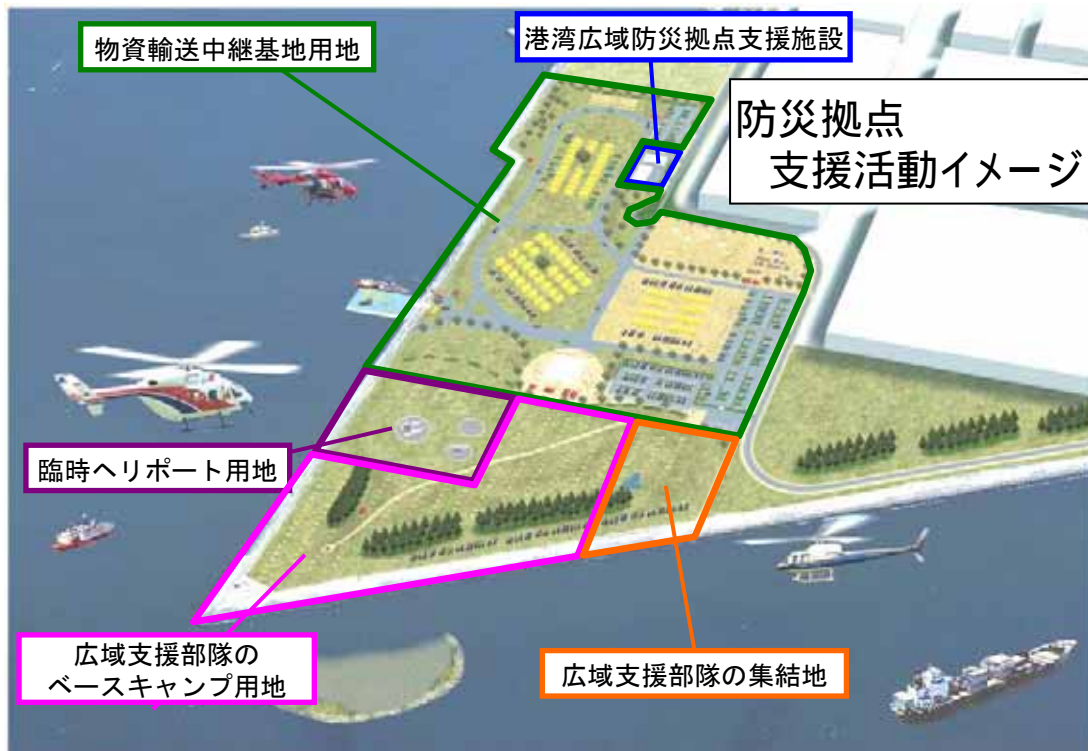
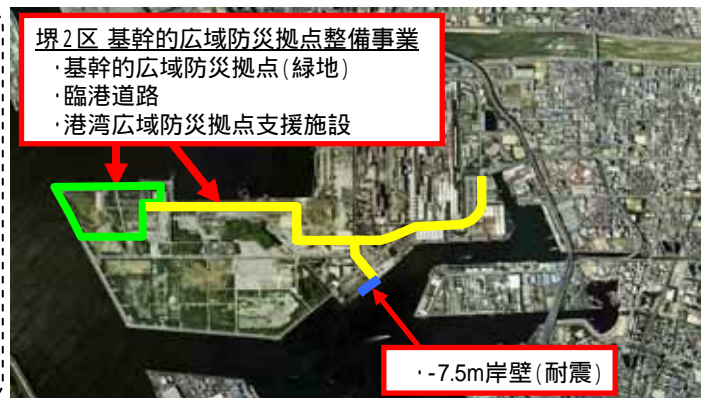
なお、堺2区における基幹的広域防災拠点の主な機能は、緊急物資の中継・分配機能、広域支援部隊の集結地・ベースキャンプ機能、応急復旧用資機材等の備蓄機能になります。

〔平成22年度実施予定〕

緑地の用地造成及び施設整備、耐震強化岸壁、臨港道路、支援施設棟を、平成23年度の供用を目指し整備していきます。

## 想定される主な被害

上町断層帯地震による被害想定  
(平成20年5月中央防災会議・公表)  
死者数 約42,000人(冬朝5時・風速15m/s)  
経済被害 約74兆円(冬昼12時・風速15m/s)  
東南海・南海地震による被害想定  
(平成15年9月中央防災会議・公表)  
死者数 約18,000人(夕方5時・風速15m/s)  
経済被害 約57兆円(夕方18時・風速15m/s)



# 地震防災対策推進地域等における津波・高潮対策の推進

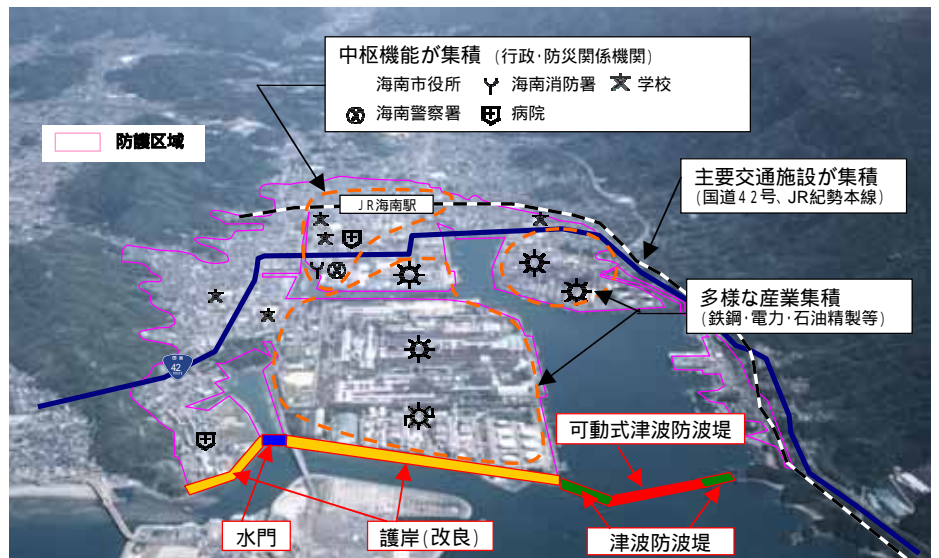
安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

今後30年以内に50～70%の確率で発生するとされている東南海・南海地震等が発生した場合に、著しい被害が生じるおそれがある地震防災対策推進地域等において津波・高潮対策を推進していきます。

## □地震防災対策推進地域における地震・津波対策

### 【和歌山下津港海岸】

和歌山県海南市における津波浸水予測区域では、行政・防災中枢機能や高付加価値製品製造企業が集積しており、甚大な被害の発生が危惧されています。このため人命・財産はもとより、これら施設の防護のため海岸保全施設の整備を推進します。平成22年度は、先行して護岸改良を進めていきます。

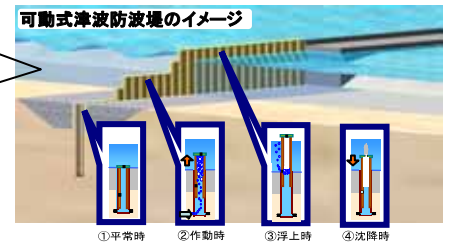


和歌山下津港海岸(海南地区)

### 【文里港海岸】

和歌山県田辺市に位置する文里港海岸では、護岸高の不足より高潮による浸水被害が懸念されています。このため老朽化が著しく機能が低下している護岸を改良します。

平常時は、航行船舶の障害とならないように海底に格納し、津波来襲時に海面に浮上させる。津波終息後は、沈降させ再び海底に格納する。



### 【湯浅広港海岸】

和歌山県湯浅町と広川町に位置する湯浅広港海岸においては、住民の安全な生活を確保するため、津波防波堤等の整備を促進していきます。



文里港海岸(神子浜新庄地区)



湯浅広港海岸(湯浅・広地区)

## □津波・高潮危機管理対策緊急事業

人命の優先防護を目的とした津波・高潮防災ステーションの整備やハザードマップ作成支援などとともに護岸・防潮堤の耐震補強を、福良港海岸、加太港海岸等にて平成22年度も引き続き促進していきます。



津波防災ステーション(例):福良港海岸(南あわじ市)



# 大阪湾ゼロメートル地帯等における浸水被害対策の推進

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

わが国有数の中枢機能が集積する大阪湾ゼロメートル地帯及びその周辺部において、大規模な浸水被害を最小化するための護岸、防潮堤等の高潮対策事業を平成22年度も引き続き促進していきます。

## □大阪湾ゼロメートル地帯等における高潮対策

### 【神戸港海岸】

平成16年に相次ぎ来襲した台風を含め、高潮時に冠水等の被害が度重なり発生しています。このため、一部に港町「神戸」の眺望に配慮した構造としつつ、胸壁整備の早期完成を目指しています。

### 【尼崎西宮芦屋港海岸】

排水設備の老朽化による信頼性低下が、内水排除能力にも影響を及ぼしているため、施設の改良整備を促進していきます。

### 【阪南港海岸】

岸和田水門は整備後20年以上が経過し、操作設備等の老朽化が著しいことから、設備関係の改良整備を図ります。

### 【大阪港海岸】

都市直下型地震にも耐え得るよう、堤防の液状化対策と併せて耐震補強を促進していきます。



神戸港海岸(新港地区)  
(胸壁の一部に眺望を配慮しアクリル板を使用)



尼崎西宮芦屋港海岸(海岸地区)



大阪港海岸(港区埠頭地区)



阪南港海岸(岸和田地区)



# 海洋環境整備事業の推進(瀬戸内海)

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

瀬戸内海における航行船舶の安全の確保、海洋の汚染の防除、良質な海洋環境保全を積極的に行うため、大阪湾・紀伊水道・播磨灘5,900km<sup>2</sup>で海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。

## 〈概要〉

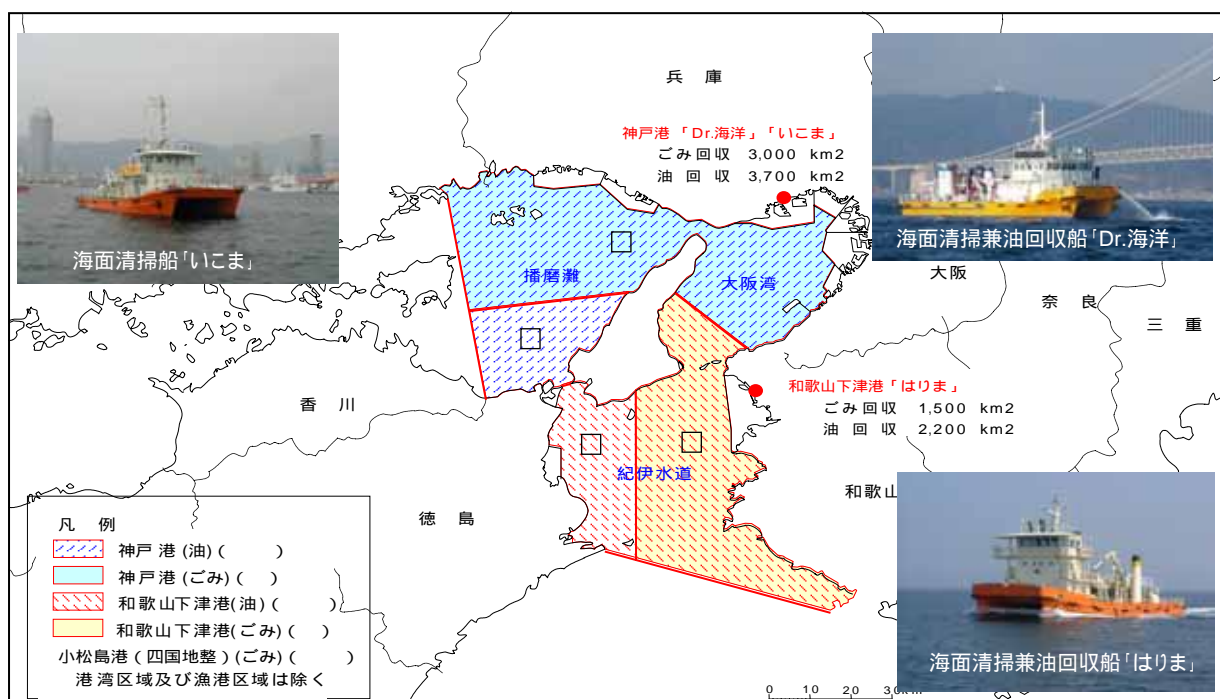
管内の2基地(神戸港、和歌山下津港)に海洋環境整備船3隻(海面清掃兼油回収船2隻(Dr.海洋、はりま)、海面清掃船1隻(いこま))を配置し、海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。

## 〈担務海域〉

瀬戸内海(大阪湾、紀伊水道、播磨灘のうち、港湾区域・漁港区域は除く)

## 〈油回収実績〉(明石海峡貨物船衝突事故)

平成20年3月5日、明石海峡航路東口付近において貨物船等3隻が衝突する事故が発生し、海洋環境整備船3隻による油防除作業を実施し、油を約8t回収しています。



管内の海洋環境整備船と担務海域図



油回収器による回収状況(明石海峡貨物船衝突事故)



浮遊ごみの回収状況

# フェニックス事業の推進(大阪湾)

## 都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

大都市圏を中心に、内陸部での廃棄物処分場を確保することがますます困難となっているため、廃棄物の減量化、再利用の促進を前提に、廃棄物海面処分場の整備を推進します。

### (概要)

大阪湾において環境省と連携して、近畿2府4県の175市町村から発生する廃棄物を処分する海面埋立処分場の整備を推進します(事業期間: S61~)。

### (H22年度実施予定)

各処分場において廃棄物の受け入れを進めるとともに、合わせて護岸上部工事の進捗を図っていきます。

### (事業の効果)

大阪湾フェニックス計画を推進することにより、長期的安定的に廃棄物を適正に処理し、大阪湾圏域の生活環境の保全を図るとともに、造られた土地については港湾施設等の用地として有効に活用されます。

### 【処分場の規模】

整備場所	処分場面積	廃棄物計画受入量	備考	
大阪湾	尼崎沖	113ha	1,600万m <sup>3</sup>	受入中
	泉大津沖	203ha	3,100万m <sup>3</sup>	受入中
	神戸沖	88ha	1,500万m <sup>3</sup>	受入中
	大阪沖	95ha	1,400万m <sup>3</sup>	平成21年10月受入予定
計	499ha	7,600万m <sup>3</sup>		



## 港湾施設の戦略的維持管理の推進

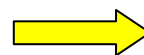
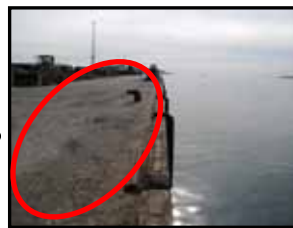
### ストック型社会への対応

厳しい自然環境にさらされ老朽化が進む港湾施設では、所要の物流ネットワークの維持・向上を図るため長寿命化計画を策定し、戦略的な更新・改良を図っていきます。

### 【戦略的維持管理の事例】

岸壁工の舗装の老朽化

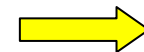
改良前



舗装打替

岸壁矢板の腐食、上部コンクリートのクラック

改良後



鋼矢板打替  
上部工打替

## 尼崎運河再生による魅力あるみなとづくりの推進(みなと振興交付金)

都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

「21世紀の尼崎運河再生プロジェクト」の目標である「自然と人と産業との良好な共生関係による持続的発展が可能な“21世紀の環境先進都市”の創造」の実現を目標に、係留施設等の施設整備を行い、魅力ある親水空間を創造し、尼崎臨海部の活性化を図ります。

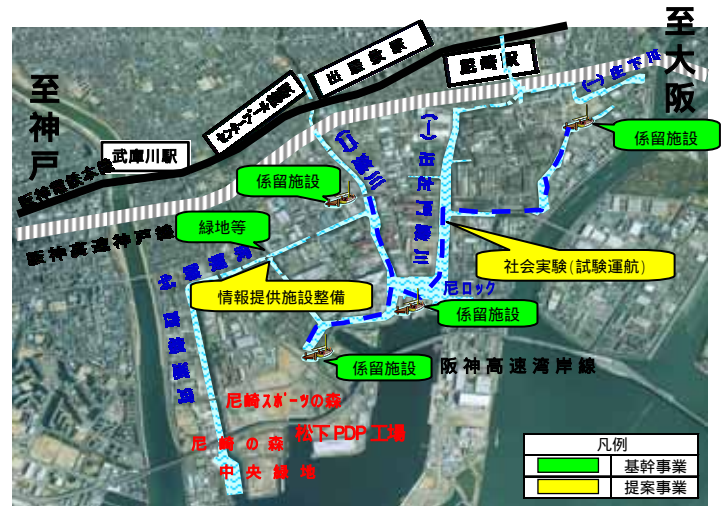
【整備概要図】

（H22年度実施予定）

基幹事業：係留施設の整備  
 緑地等（干潟・浅場）の整備  
 提案事業：情報提供施設の整備

（事業の効果）

緑地等や係留施設の整備を行うとともに、その施設を活用した社会実験等を行うことにより、その来訪者数を増加させることで尼崎臨海部の活性化を図ります。



## 宮津港 海域環境創造・自然再生等事業、侵食対策事業(海岸)の推進

都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

京都府北部地域は、歴史・文化に彩られた景観が数多く残っており、なかでも天橋立は、白砂青松の代表的景観として全国に名を知られていましたが、戦後は他の海岸と同様に砂浜の侵食により、一時はその存在そのものが危ぶまれる状態になっていました。また、閉鎖性水域では汚濁物質の蓄積が進行し、海域環境の悪化も招いています。このような観点から貴重な景観の維持や環境の改善を行うため、適切な土砂管理のもと砂州の侵食対策や良質砂による覆砂を行っており、平成22年度も引き続き事業を促進していきます。



宮津港天橋立地区

（H22年度実施予定）  
 海域環境創造・自然再生事業  
 海浜（覆砂）  
 侵食対策事業  
 人工海浜（養浜）  
 海岸環境整備事業  
 突堤、人工海浜



## ・ 営繕関係

### 防災拠点となる既存庁舎等の耐震改修の推進

安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

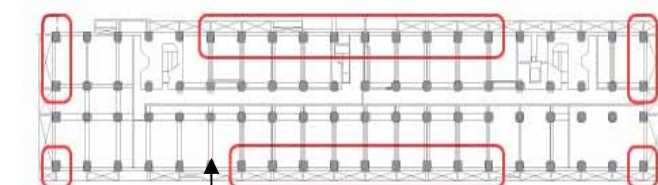
防災拠点でありながら、耐震性の基準を満たしていない既存の庁舎等について、耐震改修を引き続き推進します。耐震化の推進については平成27年度末までに耐震化率9割の達成を目標としています。



田辺港湾合同庁舎(耐震改修)

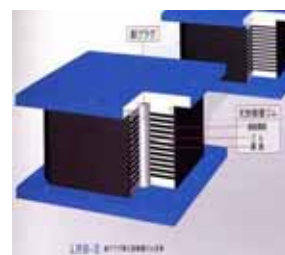


奈良第1地方合同庁舎(耐震改修)



リニアスライダー

鉛プラグ入り積層ゴム支承



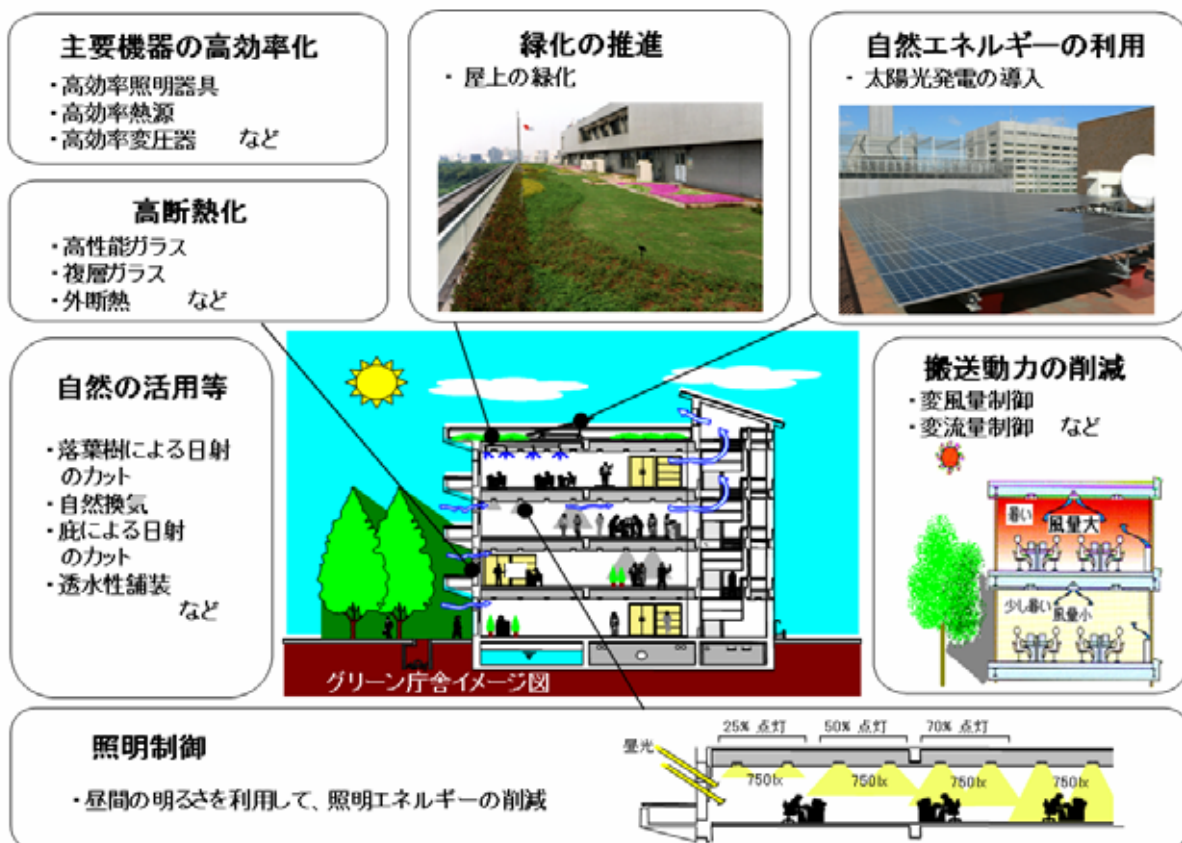
免震装置の種類

既存施設の免震改修の事例

# 地球温暖化対策としての既存庁舎等のグリーン改修の推進

都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

既存の合同庁舎等について、太陽光発電の導入や建物緑化が可能な施設に順次設置を推進します。また、引き続き設備機器などの効率化等の環境負荷低減対策として設備改修工事(グリーン改修)を推進します。



グリーン庁舎のイメージ図



太陽光発電設備の事例



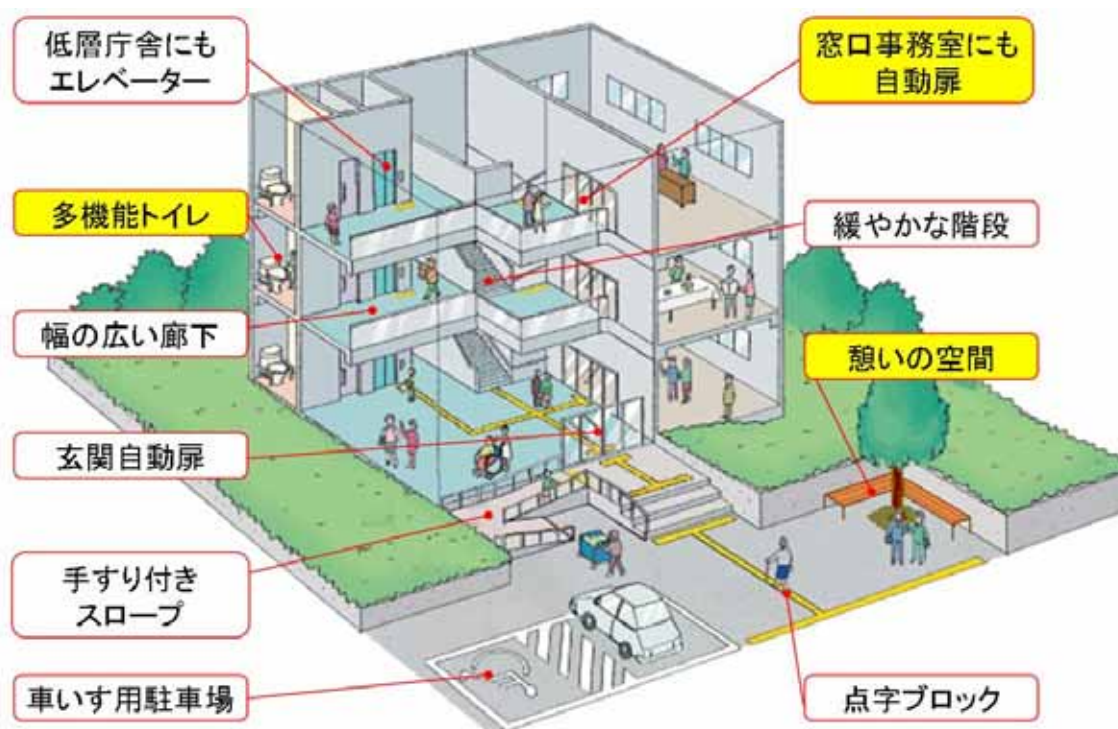
屋上緑化の事例



## 高度なバリアフリー化を目指した官庁施設整備の推進

人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

高齢者、障害者等すべての人が円滑かつ快適に施設を利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準(平成18年3月)」に基づき、窓口業務を行う事務室の出入り口の自動ドア化、多機能トイレの設置等による高度なバリアフリー化を目指した官庁施設の整備を推進します。



【高度なバリアフリー化のイメージ】



高齢者、障害者に対応した便所の整備



既存低層庁舎へのエレベーターの設置

# 索引

## ・歴史・文化を活かした地域づくり

### 歴史・文化・風土の保全・活用

- ・国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 飛鳥区域 キトラ古墳周辺地区の整備促進(直轄)・・・4

### 広域・国際観光圏の形成

- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)……………20

## ・アジア・世界と人・物・情報が交流する活力ある地域づくり

### 産業・経済を支える陸・海・空の交通網の強化

- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲)……………20
- ・産業・経済を支える幹線道路網の整備(第二阪和国道)(直轄)……………22
- ・阪神港スーパー中枢港湾プロジェクトの推進(直轄)……………30
- ・舞鶴港前島地区など、既存ストックの有効活用  
による地域経済の活性化への支援(直轄)……………31

### 国内外の人・物・情報が活発に行き交う国際交流拠点の形成

- ・JR東海道線支線(大阪駅北付近)連続立体交差事業(補助)……………5

### 圏域内外の交流・連携の強化

- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲)……………20

## ・都市と自然の魅力に親しめる持続可能な地域づくり

### 都市の魅力を高めるための賑わい空間やゆとり空間の創出

- ・まちづくり交付金(JR奈良駅周辺地区)(補助)……………7
- ・都市公園の整備(和歌山県営紀三井寺公園)(補助)……………9
- ・地域の魅力・活力を向上させる地域連携事業(かわまちづくり支援制度)(補助)……………18

### 持続可能な地域づくりと生活圏の形成

- ・円山川、淀川における生態系の保全を促進する自然再生事業(直轄)……………17
- ・大谷川床上浸水対策特別緊急事業(補助)……………19
- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲)……………20
- ・尼崎運河再生による魅力あるみなとづくりの推進(みなと振興交付金)(補助)……………37
- ・宮津港など、海域環境創造・自然再生等事業、  
侵食対策事業(海岸)の推進(補助)……………37

### 環境負荷の低減と循環型社会の形成

- ・下水道処理場の整備(竜華水みらいセンター、なわて水みらいセンター)(補助)……………10
- ・大阪湾フェニックス事業の推進(補助)……………36
- ・地球温暖化対策としての既存庁舎等のグリーン改修の推進(直轄)……………39

## ・人々が自律して快適で豊かに暮らせる地域づくり

### 全ての人々の行動を支えるユニバーサルデザインの考え方を踏まえた空間の形成

- ・国道2号新在家横断歩道橋整備事業など、バリアフリー化の推進(直轄)……………24
- ・高度なバリアフリー化を目指した官庁施設整備の推進(直轄)……………40

### 暮らしやすく、安全・安心な生活環境の創出

- ・阪急淡路駅周辺(連続立体交差事業、土地区画整理事業)(補助)……………6
- ・国道29号田井地区歩道整備事業など、  
通学路等における安全・安心な歩道空間の創出(直轄)……………25

### どこにいても基本的な生活サービスを楽しむ地域の実現

- ・国道421号石樽峠道など、地域の生活を支える幹線道路の整備(直轄)……………23



## ・安全・安心な暮らしを支える災害に強い地域づくり

### 自然災害への的確な対応

- ・住宅・建築物の耐震化(補助)……………8
- ・地球温暖化による水災害の激化への対策(直轄・補助)……………12
- ・河川整備計画 進捗点検(直轄)……………12
- ・円山川、由良川下流部など、平成16年度災害の再度災害防止(直轄・補助)……………13
- ・堤防の信頼性向上・まちづくりと一体となった高規格堤防の整備(直轄)……………14
- ・洪水被害から流域住民の暮らしを守るダム建設事業等(直轄・補助)……………15
- ・六甲山系における砂防施設の整備(直轄)……………16
- ・近畿自動車道紀勢線など、基幹ネットワークの整備(直轄)(再掲)……………20
- ・国道9号京都西共同溝、災害に強いライフラインの構築(直轄)……………26
- ・大阪国際空港の整備(直轄)……………31
- ・和歌山下津港海岸など、地震防災対策推進地域等における  
津波・高潮対策の推進(直轄・補助)……………33
- ・大阪湾ゼロメートル地帯等における浸水被害対策の推進(補助)……………34

### 災害に対する広域的な安全性の向上

- ・防災公園の整備(大阪府菅寝屋川公園、兵庫県菅淡路佐野運動公園等)(補助)……………9
- ・密集市街地の整備改善(補助)……………8
- ・下水道ネットワーク幹線の整備(補助)……………10
- ・都市計画道路 山手幹線の整備事業(補助)……………11
- ・近畿自動車道紀勢線など、ネットワークの整備(直轄)(再掲)……………20
- ・堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点整備事業の推進(直轄)……………32
- ・防災拠点となる既存庁舎等の耐震改修の推進(直轄)……………38

### 重大事故やテロなどに対する危機管理体制の強化

- ・海洋環境整備事業の推進(瀬戸内海)(直轄)……………35

## ・ストック型社会への対応

### 計画的・効率的な社会資本の維持管理や更新とICT有効活用

- ・地域住宅交付金(PFIによる市営長曾根団地・深井中町団地建替等事業)(補助)……………7
- ・河川管理施設の長寿命化対策(直轄)……………16
- ・国道27号万代橋橋梁補修など、  
高齢化する橋梁の予防的補修による延命化(直轄)……………27
- ・港湾施設の戦略的維持管理の推進(直轄・補助)……………36